

鎌ヶ谷市総合基本計画～かまがやレインボープラン21～

後期基本計画第3次実施計画 (案)

(平成27年度～平成31年度)



鎌 ヶ 谷 市

目 次

第1部 総論

1	計画の策定趣旨	1
2	計画の期間	1
3	計画の性格	1
4	計画の特徴	1
5	策定にあたっての市長方針	2
6	計画の対象	2
7	計画の基本的要件	2
8	「多額の経費を要する事業等」に充てる事業費の状況	3

第2部 分野別計画

第1章	分野別計画の策定にあたって	4
1	分野別計画の体系	4
2	分野別計画策定の考え方	4
3	多額の経費を要する事業等の考え方	5
4	分野別計画の見方	6
第2章	分野別計画	
■基本目標1	「健康で生きがいのある 福祉・学習都市」をめざして	7
☆政策1-1	誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります	7
施策1	地域で支えあう福祉社会の形成	7
施策2	いきいきとした高齢社会の形成	10
施策3	健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	13
施策4	社会参加に向けた障がい者（児）福祉の推進	16
施策5	安心して暮らせる社会保障の充実	19
施策6	健康を支える保健・医療の充実	22
政策1-2	生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	25
施策1	いきいきとした生涯学習の推進	25
施策2	生涯スポーツ・レクリエーションの振興	27
施策3	芸術・文化の振興	29
☆政策1-3	人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	31
施策1	豊かな人間性を育む幼児教育の充実	31
施策2	生きる力を育てる義務教育の充実	33
施策3	児童・生徒の健康と安全の確保	35
施策4	高等教育の充実	37
施策5	青少年の健全育成	39

政策 1-4	個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	4 2
施策 1	個性豊かなコミュニティづくり	4 2
施策 2	市民生活を支える地域情報化の推進	4 4
施策 3	男女共同参画社会づくり	4 6
施策 4	世界と結びつく国際化の促進	4 8
■基本目標 2	「自然と社会が調和する 環境共生都市」をめざして	5 0
政策 2-1	人と自然にやさしい地域社会をつくります	5 0
施策 1	環境保全の促進	5 0
施策 2	循環型社会の構築	5 2
政策 2-2	快適な暮らしの環境をつくります	5 5
施策 1	良好な住宅の整備	5 5
施策 2	快適な公園・緑地環境の整備	5 7
施策 3	うるおいある河川・水路の整備	5 9
施策 4	上・下水道の整備	6 1
施策 5	環境衛生の充実	6 4
☆政策 2-3	安全に暮らせる社会システムをつくります	6 7
施策 1	交通安全の推進	6 7
施策 2	防犯対策の推進	7 0
施策 3	防災対策の強化	7 2
施策 4	消防力の強化	7 5
■基本目標 3	「躍動感と魅力あふれる 交流拠点都市」をめざして	7 8
☆政策 3-1	魅力あふれるまちづくりを進めます	7 8
施策 1	広域交流拠点の整備	7 8
施策 2	鉄道新線開業等に対応した新市街地の整備	8 0
施策 3	質の高い既成市街地の整備	8 1
施策 4	鎌ヶ谷市の魅力あふれるまち並みづくり	8 3
政策 3-2	都市活動を支える交通網整備を進めます	8 5
施策 1	安全でゆとりある道路の整備	8 5
施策 2	利便性の高い公共交通体系の充実	8 8
政策 3-3	活力ある産業を育成します	9 0
施策 1	都市農業の育成	9 0
施策 2	魅力ある商業の育成	9 3
施策 3	活力ある工業の育成	9 5
施策 4	安心できる消費生活の推進	9 8

■計画の実現のために	100
政策4-1 計画の実現のために	100
施策1 地方分権と市民参加の推進	100
施策2 効率的で健全な行財政運営の推進	103
施策3 広域行政の推進	106
参考資料（策定にあたっての市長方針）	108

第3次実施計画 別冊(多額の経費を要する事業等の詳細)

第 1 部 総論

1 計画の策定趣旨

「鎌ケ谷市総合基本計画～かまがやレインボープラン21～」は、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」の三層により構成しています。

「後期基本計画第3次実施計画」は、「基本構想」に掲げる目指すべき都市像「緑とふれあいのあるふるさと 鎌ケ谷」の実現に向け、「後期基本計画」で示した各施策の目的（めざす姿）を達成するための手段（事務事業）を明確にし、総合的・計画的なまちづくりを進めるため、中期的な視野に立ち策定するものです。

2 計画の期間

本計画の期間は、平成27年度（2015年度）から平成31年度（2019年度）までの5年間とします。

3 計画の性格

- (1)本計画は、後期基本計画で示した施策の体系に基づき、今後5年間に実施すべき施策・事務事業の年次計画を定めるものであり、計画期間における各年度の行政運営及び予算編成の指針となります。
- (2)本計画は、計画の適切な執行を期するため、各事務事業の進捗状況と「後期基本計画」に掲げた「施策の成果目標値」の達成状況等を把握するなどの進行管理を行います。
- (3)本計画は、社会経済の動向及び策定にあたって考慮された諸条件の変動などを踏まえ、原則として2年ごとのローリング方式により見直します。

4 計画の特徴

本計画の策定にあたっては、特に以下のような点に配慮しております。

- (1)「前期基本計画」における「実施計画」では、事業費500万円以上の事務事業を「実施計画事業」としてきましたが、本計画では事業費の多寡に関わらず、すべての施策について、目的（めざす姿）達成のための手段（事務事業）を明記しました。
- (2)「協働で達成する計画」とするために、市民・事業者が役割を担うために行政がとる方策についても明記しました。
- (3)「目的を達成するために有効な手段の選択」という視点で、スクラップ&ビルドを行い、「目的達成のため、計画期間中に優先的に実施する」とした事務事業を掲げました。
- (4)「後期基本計画」に掲げる4つの重点政策「福祉」「教育」「安全・安心」「魅力あるまちづくり」に配慮しました。
- (5)事務事業の選択にあたって、政策・施策・事務事業の事前評価を行いました。
- (6)後期基本計画に掲げた「施策の成果目標値」の平成27年度目標値の達成に配慮しました。

5 策定にあたっての市長方針

後期基本計画では、4つの重点政策（福祉、教育、安全・安心、魅力あるまちづくり）を定め、「選択と集中」による行政運営を基本として、まちづくりを進めていくこととしておりますが、後期基本計画第3次実施計画では、新たに以下の5つの分野を積極的に進めていくため、市長方針を定め、策定することとしました。

- ①地震・災害に強い街づくり
- ②子育て世代にやさしい街づくり
- ③高齢者が安心して暮らせる街づくり
- ④「文教都市」として、文化・スポーツが盛んで、緑あふれる街づくり
- ⑤未来を見据えた街づくり

※策定にあたっての市長方針については、本書108ページ[参考資料](#)をご参照ください。

6 計画の対象

- (1)本計画の対象とする事業は、「後期基本計画」で掲げた施策の目的（めざす姿）達成のため、市が行うすべての事務事業（予算計上を必要としない事務事業、国・県・民間等が主体となり本市が事業費を負担する事務事業等を含む）とします。
- (2)「前期基本計画」における「実施計画」で対象事業としてきた事業費500万円以上の事務事業については、「多額の経費を要する事業等」として、特に明記します。

7 計画の基本的要件

- (1)人口の見通し

「国立社会保障・人口問題研究所」が、平成25年3月に実施した以下の推計のとおりとします。

鎌ヶ谷市の人口推計（国立社会保障・人口問題研究所）

	平成32年（2020年）		平成37年（2025年）	
		構成比		構成比
総人口（人）	111,105	100%	110,471	100%
15歳未満	13,463	12.1%	12,599	11.4%
15～64歳	65,662	59.1%	65,729	59.5%
65歳以上	31,980	28.8%	32,143	29.1%

(2) 財政の見通し

平成26～30年度の財政の見通しについては、平成26年度予算確定後に策定した「中期財政見通し」に基づき、157,013百万円と推計しています。

この「中期財政見通し」では、行財政改革を継続したことにより確保した各種基金を活用することにより、「鎌ヶ谷市財政健全化計画」で掲げた財政調整基金残高の目標である約17億円を確保した上で、財源不足は生じない状況にあります。

今後とも、将来に向けて持続可能な行財政運営を確立するためには、行財政改革推進プランを着実に実行して財源確保を図るなど、引き続き行財政改革を実施して行く必要があります。

図表 中期財政見通し(平成26～30年度)

(単位:千円)

歳入区分		推計額	歳出区分		推計額
市 税		63,990,000	義務的経費	人件費	32,274,934
地方交付税		17,150,000		扶助費	40,620,936
国県支出金		35,065,237		公債費	13,608,262
市 債		16,012,600	普通建設事業費		13,513,206
その他		24,795,804	その他経常的経費		56,996,303
合 計		157,013,641	合 計		157,013,641

実施計画策定時には、決算後に作成される中期財政見通しの数値に差替えます。

※対象年度は実施計画と同じ平成27～31年度となります。

8 「多額の経費を要する事業等」に充てる事業費の状況

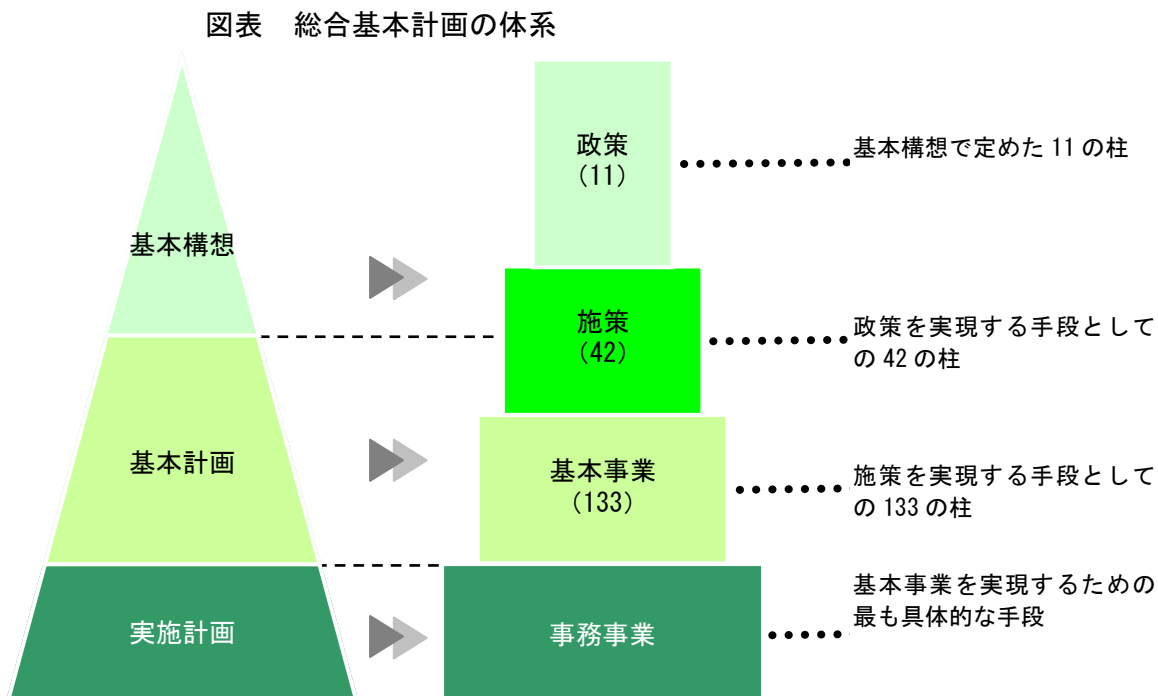
施策の体系	事業費 (単位:千円)						構成比
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	合計	
1 「健康で生きがいのある福祉・学習都市」をめざして	1,963,499	2,164,190	1,244,639	1,010,119	1,158,941	7,541,388	34.5%
2 「自然と社会が調和する環境共生都市」をめざして	2,748,482	3,098,826	1,847,122	1,350,110	925,523	9,970,063	45.6%
3 「躍動感と魅力あふれる交流拠点都市」をめざして	1,167,206	1,307,041	805,716	527,321	529,491	4,336,775	19.8%
4 計画の実現のために	0	0	100	10,000	10,000	20,100	0.1%
総 合 計	5,879,187	6,570,057	3,897,577	2,897,550	2,623,955	21,868,326	

第2部 分野別計画

第1章 分野別計画の策定にあたって

1 分野別計画の体系

分野別計画では、総合基本計画を次のように体系化しています。



2 分野別計画策定の考え方

分野別計画では、「後期基本計画」で定めた「市民」「事業者」の役割を果たしやすくするよう行政がとる方策を明記するとともに、「施策のめざす姿」を実現するための手段である「基本事業」ごとに以下の考え方で策定しています。

- (1) 「基本事業のねらい」の達成度を測るための「基本事業の成果目標値」は、原則として具体的な数値で目標値を掲げました。(一部具体的な数値を示すことが難しいものは「増加」「減少」など方向を示しています。)

(2)「基本事業」を実現するための手段（事務事業）については、計画期間の5年間で考えられる手段（事務事業）すべての中から、目的を達成するための優先度が高い上位3分の1（原則）の手段（事務事業）を「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容」として事務事業名と内容を記載しました。（この段階での財源の明記はしてありません。）

※目的を達成するための手段（事務事業）が全部で6つの場合は、上位3分の1にあたる2つの手段（事務事業）を記載しています。

3 多額の経費を要する事業等の考え方

(1)「基本事業のねらい（めざす姿）を実現するための主な内容」のうち、事業費500万円以上の事業については、「多額の経費を要する事業等」として財源を特に明記しました。計上することとしたもののうち、優先度が高い方からA→B→Cとしています。

(2)多額の経費を要する事業等のうち、策定過程で計上を見送った事業についても事業名を記載しました。財政状況に応じて、この項目から事業を選択する可能性があります。（この項目に記載された事務事業の優先度は、上記「C」よりも低い扱いとなります。）

(3)選定については、「重点政策」「市民ニーズ」等の8項目で評価を行い、事業の優先度を判断した上で、将来的な財政見通しとなる「中期財政見通し」を踏まえ、事業を選定しております。

(2)「基本事業」を実現するための手段（事務事業）については、計画期間の5年間で考えられる手段（事務事業）すべての中から、目的を達成するための優先度が高い上位3分の1（原則）の手段（事務事業）を「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容」として事務事業名と内容を記載しました。（この段階での財源の明記はしていません。）

※目的を達成するための手段（事務事業）が全部で6つの場合は、上位3分の1にあたる2つの手段（事務事業）を記載しています。

3 多額の経費を要する事業等の考え方

(1)「基本事業のねらい（めざす姿）を実現するための主な内容」のうち、事業費500万円以上の事業については、「多額の経費を要する事業等」として財源を特に明記しました。計上することとしたもののうち、優先度が高い方からA→B→Cとしています。

(2)多額の経費を要する事業等のうち、策定過程で計上を見送った事業についても事業名を記載しました。財政状況に応じて、この項目から事業を選択する可能性があります。（この項目に記載された事務事業の優先度は、上記「C」よりも低い扱いとなります。）

(3)選定については、「重点政策」「市民ニーズ」等の8項目で評価を行い、事業の優先度を判断した上で、将来的な財政見通しとなる「中期財政見通し」を踏まえ、事業を選定しております。

3 分野別計画の見方

「後期基本計画」で定めた鎌ヶ谷市のめざすまちの姿を実現するための柱となる「政策」「施策」の名称です。

重点政策に属するものは【重点政策】と明記しています。

政策 1-1 誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります【重点政策】
 施策 1-1-1 地域で支えあう福祉社会の形成⇒「後期基本計画」p35

■■ 施策のねらい（めざす姿） ■■

すべての市民が、地域で支えあい、助けあいながら生活しています。



「後期基本計画」で定めた、この施策で、鎌ヶ谷市がめざす将来の姿です。

■■ 施策の成果目標値 ■■

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
福祉環境満足度（市民意識調査）	%	15.2	13.0	15.2	14.0
ボランティア登録団体数	人	1,397	1,550	1,580	1,600

「後期基本計画」で定めた施策の達成度

■■ 後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担 ■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動に参加し、自己実現や自己啓発に取り組みます。 ボランティア活動に積極的に参加します。 地域での支えあいに積極的に取り組みます。 	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> 地域の一員として、地域活動に参加します。 地域の生活課題の解決に、地域と協働して取り組みます。 地域の支えあいネットワーク形成に参加します。 	

「後期基本計画」で定めた「市民」「事業者」の役割です。

■■ 「市民」「事業者」が役割を担うためにとる方策 ■■

まちづくり主体	行政がとる方策
市民	<ul style="list-style-type: none"> 地域における支えあいの拠点として、地区社会福祉協議会をその核として、「住民主体」の地域支えあい事業を展開し、各地域での福祉活動を推進していきます。 住民同士がさりげなく気遣い合い、困ったときに遠慮なく助けを頼めるよう、地域の誰もが「地域での支えあい」に関わる意識をもちます。
事業者	<ul style="list-style-type: none"> 新聞、乳飲料などの配達事業者や電気、ガス、水道等のライフライン事業者の、高齢者等の安否を確認する「見守り活動」などにより、様々な地域福祉の問題課題に対応していきます。

「後期基本計画」で定めた「市民」「事業者」の役割を果たしやすくするよう行政がこの5年間で行う方策です。

基本事業（4） ひとにやさしい福祉のまちづくり

「後期基本計画」で定めた施策を実現するための「基本事業」の名称です。

この基本事業がめざす鎌ヶ谷市の将来の姿です。

（4）-①基本事業のねらい（めざす姿）

バリアフリー化が推進され、誰もが安全・安心に暮らしています。

（4）-②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
バリアフリー化に関連する事業数	件	8	6	8	6

「基本事業のねらい」の達成度を測る指標（ものさ）

（4）-③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
バリアフリー化施設整備助成事業	鉄道駅において、高齢者、障がいを持った人まですべての利用者が安全・安心に移動等ができるよう、推進していく。
バリアフリー情報の提供	だれもが安全・安心に移動できるまちをめざして、市内各施設・事業所などのバリアフリー情報を収集し、掲載することで、心のバリアフリーを推進していく。

基本事業を実現するための手段（事務事業）です。計画期間中に行う事務事業のうち目的達成のための優先度が高いものを掲げています。

（4）-④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
P.1	バリアフリー化施設整備助成事業	4,667	4,667	0	0	0	0

上欄に記載した「主な内容」の中から総事業費500万円以上の事業を掲げています。財源の詳細は、別冊「多額の経費を要する事業等の詳細」に記載しています。

（4）-⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

「多額の経費を要する事業等」のうち、策定過程で計上を見送った事業名を記載しています。※該当事業が無い場合には、その旨を記載します。

基本目標 1

「健康で生きがいのある 福祉・学習都市」
をめざして

第2章 分野別計画

基本目標1 「健康で生きがいのある 福祉・学習都市」をめざして

政策1-1 誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります【重点政策】

施策1-1-1 地域で支えあう福祉社会の形成⇒⇒「後期基本計画」p35



■■施策のねらい（めざす姿）■■

すべての市民が、地域で支えあい、助けあいながら生活しています。


■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
福祉環境満足度（市民意識調査）	%	15.2	13.0	15.2	14.0
ボランティア登録団体数	人	1,397	1,550	1,580	1,600

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動に参加し、自己実現や自己啓発に取り組みます。 ボランティア活動に積極的に参加します。 地域での支えあいに積極的に取り組みます。 	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> 地域の一員として、地域活動に参加します。 地域の生活課題の解決に、地域と協働して取り組みます。 地域の支えあいネットワーク形成に参加します。 	

■■「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> 地域における支えあいの拠点として、地区社会福祉協議会をその核として、「住民主体」の地域支えあい事業を展開し、各地域での福祉活動を推進していきます。 住民同士がさりげなく気遣い合い、困ったときに遠慮なく助けを頼めるよう、地域の誰もが「地域での支えあい」に関わる意識をもちます。 	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> 新聞、乳飲料などの配達事業者や電気、ガス、水道等のライフライン事業者の、高齢者等の安否を確認する「見守り活動」などにより、様々な地域福祉の問題課題に対応していきます。 	

基本事業（1） パートナーシップによる地域福祉活動の推進

（1）-①基本事業のねらい（めざす姿）

市民が様々な機会において地域福祉活動に積極的に参加しています。

（1）-②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
ボランティア登録団体数	人	1,397	1,550	1,580	1,600
ボランティアでの実施サービスメニュー数	件	46	55	58	60

（1）-③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
地域での支えあい活動の充実	地域での支えあい活動が推進されるために、在宅高齢者の支援や災害時の避難支援の充実を図る。
社会福祉協議会との連携	地域福祉の担い手である社会福祉協議会と協働して地域支えあい事業を展開し、各地域の福祉活動を推進していく。
ボランティア活動の活性化	地域で必要なボランティア活動の情報提供やボランティア希望者をつなぐ窓口の充実、ボランティアセンターや市民活動推進センターなどの活用を図る。

（1）-④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（1）-⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（２） 総合的な健康福祉サービス利用の促進

(2) -①基本事業のねらい（めざす姿）

市民が健康福祉に関する情報を入手でき、ニーズに応じたサービスを利用しています。

(2) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
市ホームページ掲載の健康福祉情報数	件	4	4	4	4
健康福祉に関する啓発メニュー数	件	3	2	3	2

(2) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
各種相談窓口の周知と利用促進	障がい者相談員、地域包括支援センター、在宅介護支援センター、子育て支援センター、子育て総合相談室、児童センター、保育園など、身近な相談窓口の周知と利用促進を図る。
各種援護制度の周知と利用促進	原子爆弾被爆者見舞金、災害見舞金、被災者に対する援護など、被災者の視点に立って分かりやすい周知と利用促進を図る。
健康福祉情報サービス事業の充実	いつでも誰でも健康福祉に関するサービスの情報が得られるようにする。

(2) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(2) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（３） 地域福祉推進のネットワーク化

(3) -①基本事業のねらい（めざす姿）

地域福祉に関する市民・事業者・行政の役割が明確化され、連携が強化されています。

(3) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
地域ネットワーク組織数	組織	0	1	1	1

(3) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
各団体によるネットワーク会議の構築	健康福祉分野の活動の中で共通する課題解決や政策的取り組みへの発展を目指すネットワークを市民、事業者、行政との協働により構築し、地域福祉の推進を図る。
地域福祉計画の改訂（H28年度～）	平成23年度に策定した改訂版（27年度まで）をより実情にあった計画として策定する。

(3) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(3) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（４） ひとにやさしい福祉のまちづくり

（４）－①基本事業のねらい（めざす姿）

バリアフリー化が推進され、誰もが安全・安心に暮らしています。

（４）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
バリアフリー化に関連する事業数	件	8	6	8	6

（４）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
バリアフリー化施設整備助成事業	鉄道駅において、高齢者、障がいを持った人まですべての利用者が安全・安心に移動等ができるよう、推進していく。
バリアフリー情報の提供	だれもが安全・安心に移動できるまちをめざして、市内各施設・事業所などのバリアフリー情報を収集し、掲載することで、心のバリアフリーを推進していく。

（４）－④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
P.1	バリアフリー化施設整備助成事業	4,667	4,667	0	0	0	0

（４）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

政策 1-1 誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります【重点政策】
 施策 1-1-2 いきいきとした高齢社会の形成⇒⇒「後期基本計画」p37



■ ■ 施策のねらい（めざす姿） ■ ■

高齢者が生きがいをもち、その人らしく暮らしています。

■ ■ 施策の成果目標値 ■ ■

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
65歳以上要介護認定率	%	13.6	14.5	15.3	15.5
趣味や習い事などをして いる高齢者の割合 (高齢者アンケート)	%	61.5	増加	増加	増加

■ ■ 後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担 ■ ■

市民	<ul style="list-style-type: none"> 認知症に対する正しい知識を習得します。 自らの知識や技能を生かしながら社会参加をします。 自ら進んで健康を管理します。 	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> 適切なサービスの提供を行います。 新たな事業展開を検討します。（シルバー人材センター） 	

■ ■ 「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策 ■ ■

まちづくり主体	行政がとる方策
市民	<ul style="list-style-type: none"> 認知症に対する正しい知識を習得するための講座に、市民から多くの参加者を求めるため、広報などによる積極的な周知を行います。 地域活動に興味をもっている高齢者に対し、社会福祉協議会、ボランティア団体等との連携のもと情報提供を行います。 基本チェックリストの実施にあたっては、回収率を高めるため、広報・ホームページでの周知を図るとともに、未返信者には電話・訪問等による確認を行います。
事業者	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険サービスの適切な提供を促すため、認定調査結果の点検を行い、医療と介護の給付情報を突合し二重請求をなくしていくことで、保険者機能を強化していきます。 生活支援に係る事業や事務系などの新たな職種の開拓に向け、シルバー人材センターへの支援を強化します。

基本事業（1） 活力ある高齢者の活動支援

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

高齢者が、健康で生きがいをもって暮らしています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
「健康である」と答えた 高齢者割合 (高齢者アンケート)	%	63.6	増加	増加	増加
シルバー人材センター会 員数	人	440	600	700	700

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
(仮称)北中沢ゲート ボール場用地購入事業	現在、ゲートボール場用地として使用している土地を、千葉県企業庁から購入するもの。
敬老事業補助金交付事業	自治会等が実施する敬老事業に対し補助を行う。
シルバー人材センターへ の支援	高齢者の社会参加、生きがいづくりに寄与するシルバー人材センターの運営費に対し補助を行う。

(1) -④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
P.1	(仮称)北中沢ゲートボール 場用地購入事業	39,589	0	39,589	0	0	0

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

基本事業（２） 介護予防の推進

(2) -①基本事業のねらい（めざす姿）

高齢者が、元気なうちから現状を維持またはアップさせるために自分自身と向き合っています。

(2) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
特定高齢者介護予防事業参加者数	人	89	増加	増加	増加

(2) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
特定高齢者把握事業	基本チェックリストで特定高齢者を把握し、介護予防事業につなげる。
通所型介護予防事業	運動機能向上、栄養改善、口腔ケア等の講座を実施し、介護予防を行う。

(2) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(2) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（３） 介護サービスの充実

(3) -①基本事業のねらい（めざす姿）

高齢者が、住み慣れた地域での生活を可能な限り継続できています。

(3) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
地域密着型サービス定員総数	人	133	86	133	120

(3) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
緊急通報システム事業	ひとり暮らしの高齢者が急に具合が悪くなった時に、通報により緊急要員・協力員がかけつける。
地域密着型サービス整備事業者への助成事業	地域密着型サービスの整備事業者に対し、国の交付金を活用し補助金を交付することで、介護基盤整備を図る。

(2) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(3) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（４） 地域ケアシステムの推進

（４）－①基本事業のねらい（めざす姿）

地域での支え合いにより、高齢者が安心して暮らしています。認知症になっても地域で共に支えあって安心して暮らせます。
また、福祉サービス利用者は、多様な相談ができています。

（４）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
地域包括支援センター 整備数	箇所	3	3	3	3
認知症サポーター養成 講座受講者数	人	3,155	3,100	4,730	5,000

（４）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
地域包括支援センター 運営委託	総合相談など地域の高齢者への総合的な支援を行う。
認知症見守りサポ ーター事業	見守りサポーターを養成し、高齢者や家族の支援を行う。

（４）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（４）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（２） 介護予防の推進

(2) -①基本事業のねらい（めざす姿）

高齢者が、元気なうちから現状を維持またはアップさせるために自分自身と向き合っています。

(2) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
特定高齢者介護予防事業参加者数	人	89	増加	増加	増加

(2) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
特定高齢者把握事業	基本チェックリストで特定高齢者を把握し、介護予防事業につなげる。
通所型介護予防事業	運動機能向上、栄養改善、口腔ケア等の講座を実施し、介護予防を行う。

(2) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(2) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（３） 介護サービスの充実

(3) -①基本事業のねらい（めざす姿）

高齢者が、住み慣れた地域での生活を可能な限り継続できています。

(3) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
地域密着型サービス定員総数	人	133	86	133	120

(3) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
緊急通報システム事業	ひとり暮らしの高齢者が急に具合が悪くなった時に、通報により緊急要員・協力員がかけつける。
地域密着型サービス整備事業者への助成事業	地域密着型サービスの整備事業者に対し、国の交付金を活用し補助金を交付することで、介護基盤整備を図る。

(2) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(3) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（４） 地域ケアシステムの推進

（４）－①基本事業のねらい（めざす姿）

地域での支え合いにより、高齢者が安心して暮らしています。認知症になっても地域で共に支えあって安心して暮らせます。
また、福祉サービス利用者は、多様な相談ができています。

（４）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
地域包括支援センター 整備数	箇所	3	3	3	3
認知症サポーター養成 講座受講者数	人	3,155	3,100	4,730	5,000

（４）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
地域包括支援センター 運営委託	総合相談など地域の高齢者への総合的な支援を行う。
認知症見守りサポ ーター事業	見守りサポーターを養成し、高齢者や家族の支援を行う。

（４）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（４）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

政策 1-1 誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります【重点政策】

施策 1-1-3 健やかに子どもが育つ児童福祉の推進⇒⇒「後期基本計画」 p39



■■ 施策のねらい（めざす姿） ■■

地域ぐるみで子育てできる環境の中で、子どもが健やかに育っています。


■■ 施策の成果目標値 ■■

指標名	単位	現状値	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
合計特殊出生率	—	1.38 (24年度)	1.34	1.38	1.34
保育所待機児童数	人	12 (26年度)	0	0	0
就学前人口に対する保育所入所率	%	17.2 (25年度)	16.5	18.0	18.0

■■ 後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担 ■■

市民	・地域での支えあいに積極的に取り組みます。	
事業者	・労働条件の整備を進め、子育てしやすい職場環境づくりに努めます。	

■■ 「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策 ■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	子どもの育成環境の整備を図るため、子育て支援センターや児童センター等での情報提供や相談体制の充実を図ります。	
事業者	保育所や放課後児童クラブでの待機児童をなくし、地域での子育て支援の充実や、次代を担う子どもたちが健やかに生まれ育つ環境づくりに努めます。	

基本事業（1） たくましく生きる力の育成

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

子どもの人権が尊重され、生きる力・心が育っています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
家庭児童相談室相談受付件数	件	5,592	2,750	5,592	3,000
ファミリー・サポート・センター利用件数	件	1,859	2,265	2,265	3,200

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
子育て短期支援事業	一時的に児童の養育が困難になった家庭に対し、児童の安全のため、民間児童養護施設と契約し、児童を短期入所させる。
家庭児童相談事業	家庭における児童の養育などの相談に対応する。
ファミリー・サポート・センター事業	子育ての援助ができる人（提供会員）と子育ての援助を受けたい人（依頼会員）との連絡・調整を市のアドバイザーが行う。

(2) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

基本事業（２） すべての子育て家庭への支援

（２）－①基本事業のねらい（めざす姿）

子どもを産み育てる家庭が安心して子育てを行っています。保護・援助を必要とする家庭には特に支援が行われています。

（２）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
保育所定員数	人	999 (26年度)	905	1,398	995
ひとり親世帯等医療費 等助成利用者数	人	1,370 (25年度)	1,500	1,590	1,600

（２）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
認定こども園整備助成事業	施設型給付幼稚園及び認定こども園の移行にあたり、私立幼稚園に対し施設型給付費及び補助金を交付する。
地域型保育整備助成事業	地域型保育施設の運営にあたり、法人に対し地域型保育給付費及び補助金を交付する。
民間保育所整備助成事業	社会福祉法人等が新たに建設する保育所に対して、建設等に係る委託費及び補助金を交付する。
保育園改修事業	施設の長寿命化を図るため、老朽化した施設の改修を行う。
子ども医療費助成拡大事業	児童の通院に対する医療費について、中学校3年生までの助成を引き続き行う。

（２）－④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
P.2	認定こども園整備助成事業	769,404	0	331,443	145,987	145,987	145,987
P.2	地域型保育整備助成事業	1,350,223	225,491	264,386	286,782	286,782	286,782
P.3	民間保育所整備助成事業	741,644	200,112	135,383	135,383	135,383	135,383
P.3	保育園改修事業	95,623	3,063	24,809	19,822	28,011	19,918
P.4	子ども医療費助成拡大事業	550,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000

（２）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

基本事業（3） 子育て親育ての地域での支え合い

（3）－①基本事業のねらい（めざす姿）

地域全体で子育てを行い、子育て家庭を見守っています。

（3）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
ファミリーサポートセンター利用者数	人	1,859	2,265	2,265	3,200
児童センター利用者数	人	108,072	120,000	120,000	120,000

（3）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
放課後児童クラブ整備・改修事業	専用クラブの整備、改修
（仮称）東部地区児童センター設置事業	用地測量・不動産鑑定、用地購入
児童センターリニューアル事業	大規模改修（トイレ、屋上・外壁、内装等）
児童遊園環境整備事業	遊具等の施設状況調査
つどいの広場実施事業	児童センター等5施設の運営

（3）－④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
P.4	放課後児童クラブ整備・改修事業	227,000	4,000	70,000	123,000	30,000	0
P.5	（仮称）東部地区児童センター設置事業	151,000	0	0	0	1,000	150,000
P.5	児童センターリニューアル事業	139,419	32,602	9,123	97,694	0	0

（3）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

政策 1-1 誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります【重点政策】

施策 1-1-4 社会参加に向けた障がい者（児）福祉の推進⇒⇒「後期基本計画」p41



■■施策のねらい（めざす姿）■■

障がい者（児）が、住み慣れた家庭や地域で安心して自立した生活をしています。


■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
障がい者手帳所持者のうち施設入所者を除いた割合	%	98.2	98.4	98.6	98.7
訪問系サービス利用者数	人	90	90	105	110
日中系サービス利用者数	人	291	360	380	390

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者（児）に対する理解と協力を進めます。 障がいが進まないように、予防や健康管理に努めます。 防犯・防災体制の向上を図るため、地域協力を努めます。 	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> 利用者ニーズを把握します。 提供するサービスの質の向上に努めます。 社会環境の変化に対応したサービスを提供します。 	

■■「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者（児）の立場にたった在宅支援サービス等の充実を図っていきます。 障がいが進まないように、年少期からの健康教育の推進と健康診断の充実を図っていきます。 防犯・防災体制向上のため各種講座等による知識の普及、電子メールやファックスによる情報伝達、避難訓練の実施を行っていきます。 	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> 利用者のニーズを各種相談や各種アンケート調査などによる情報収集・集約を行い、相談支援体制の充実を図ります。 必要なサービス提供体制確立を目指し、既存事業者の育成と新規事業者の参入促進を図っていきます。 法制度の変化などに即応したサービス提供体制をつくっていきます。 	

基本事業（1） 自立した生活を支えるしくみづくり

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

障がい者（児）自身が、主体的な選択と決定により各種サービスを利用できています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
手話通訳・ガイドヘルパー派遣数（※）	件	195	205	210	215
地域活動支援センター利用者数	人	23	61	65	71
介護給付・訓練等給付費の受給者数	人	477	484	494	503

※ガイドヘルパー派遣事業については、障害者自立支援法による「同行援護」に移行し、平成24年10月以降は手話通訳の派遣数のみを記載。

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
介護・訓練等給付費	障がい者に対する日常生活上の介護給付や訓練等の給付を継続する。
地域活動支援センターⅢ型施設運営助成	創作活動や生産活動の機会を提供する地域活動支援センターⅢ型施設への助成を継続する。

(3) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（２） 自己実現や社会参加がしやすい環境づくり

(2) -①基本事業のねらい（めざす姿）

障がいの早期発見と療育体制の強化により、障がい者（児）が自己の能力・可能性を高め、自立を目指しています。

(2) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
身障センター講座参加者数	人	96	130	140	150
親子教室参加者数	人	52	40	52	40
のびのびルーム利用者数	人	44	48	48	48

(2) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
児童発達支援事業	のびのびルームにおける療育
療育支援事業	親子教室・個別相談・施設支援

(3) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(2) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

こども発達センター増改築事業

基本事業（３） 安心して暮らせる環境づくり

(3) -①基本事業のねらい（めざす姿）

障がい者（児）が必要な情報を得られています。
また、災害時等における避難・救助体制や権利擁護の仕組みが構築されています。

(3) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
障がい者の防災訓練参加者数	人	35	38	43	48
重度心身障がい者（児）医療費助成額	百万円	148	150	159	167

(3) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
重度心身障がい者（児）医療費助成	重度の知的・身体障がい者への医療費助成を行う。
精神障がい者医療費助成	精神障がい者の入院・通院への医療費給付、助成を行う。

(3) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(3) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（４） 共生社会のための基盤づくり

（４）－①基本事業のねらい（めざす姿）

障がい者（児）に対する理解が深まり、誰もが地域で支えあいながら生活をしています。

（４）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
啓発事業参加者数	人	2,108	4,231	4,340	4,453

（４）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
福祉施設の見学やボランティアを通じた福祉教育の推進	施設でのボランティア体験などを通して障がいへの知識などを得る。

（４）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（４）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

政策 1-1 誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります【重点政策】

施策 1-1-5 安心して暮らせる社会保障の充実⇒⇒「後期基本計画」p43



■■ 施策のねらい（めざす姿） ■■

すべての市民が必要な社会保障制度を活用し、安心して暮らしています。


■■ 施策の成果目標値 ■■

指標名	単位	現状値	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
※この施策は国の制度に基づいて推進していくため、国が行う施策の影響が大きく、市としての成果目標値は設定しません。					

■■ 後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担 ■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会保障制度を正しく理解し、必要な制度を活用しています。 ・ 自立した生活に向けた意欲をもち、努力しています。 	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雇用の機会を創出します。 	

■■ 「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策 ■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	自立相談窓口設置の周知徹底。	
事業者	包括的な支援体制を構築するためのネットワークづくり。	

基本事業（1） 保険制度の適正な運営

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

社会保障における保険制度が適正に運営されています。
また、市民は保険制度を理解し、適正な負担をし、適正な給付を受けています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
国民健康保険一人当たりの医療費	円	288,861	330,000	378,000	390,000

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
医療に対する国民健康保険の負担	国民健康保険加入者が医療機関の窓口で被保険者証を提示することで、一部負担金を支払い、残りの費用は保険者が負担します。
医療費が高額となった時の高額療養費の支給	医療機関で支払った負担額が自己負担額限度額を超えた場合その超えた分が支給されます。
いったん全額を自己負担した時の療養費の支給	医療機関で保険証を持たずに診療を受けたり、医師が治療上必要と認めた補装具等を購入した場合、療養費が支給されます。
子供が生まれた時の出産育児一時金の支給	国民健康保険加入者が出産した時、国民健康保険から出産育児一時金が支給されます。
被保険者が亡くなった時の葬祭費の支給	国民健康保険加入者が亡くなった時、葬祭を行った人に葬祭費が支給されます。

(1) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（２） 保健事業の充実

（２）－①基本事業のねらい（めざす姿）

特定健康診査を受診することにより、生活習慣病に注意して生活でき、医療費の増加が抑制されています。

（２）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (24年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
特定健康診査受診率（法定報告値）	%	30.9	65.0	65.0	65.0
特定保健指導利用率（法定報告値）	%	24.3	50.0	50.0	50.0

（２）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
特定健康診査	特定健康診査の周知、対象者への受診券の送付、健診結果の管理、健診費用の負担、健診未受診者対策
特定保健指導	対象者の抽出、特定保健指導案内通知、特定保健指導未利用者対策、特定保健指導の実施

（２）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（２）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（３） 年金制度の周知

（３）－①基本事業のねらい（めざす姿）

誰もが年金制度を理解し、保険料を納め、適正な年金を受給しています。若年層についても年金への関心が深まっています。

（３）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
資格異動届数 (任意加入者数)	件	267	298	282	282

（３）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
国民年金第1号被保険者資格取得の手続き	20歳加入、退職による加入、配偶者の退職等による種別変更の届出を受け付けします。
保険料免除申請の受付	保険料の納付が困難な学生、若年者及び失業者等に対して免除申請を受け付けします。
基礎年金受給の相談及び請求の受付	基礎年金（老齢、障害、遺族）の受給に関する相談及び請求を受け付けします。
任意加入の手続き	60歳以上の者及び60歳未満で海外在住の者で加入を希望する者について加入届出を受け付けします。
未支給年金請求の受付	受給者が亡くなった時、受け取れるはずであった年金が残っている場合に請求を受け付けします。

（３）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（３）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（４） 生活保護と自立生活の支援

（４）－①基本事業のねらい（めざす姿）

生活困窮者が生活保護法に基づいた生活を送ることができています。
また、自立した生活に移行できています。

（４）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
就労等による生活保護 廃止件数	件	29	現状維持	現状維持	現状維持
満足度アンケート	%	—	50	現状維持	現状維持

（４）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
各種自立支援プログラム事業	受給者の自立を支援するため、就労支援プログラム、資格取得プログラム等の実施を図る。
ホームレス支援対策事業	リストラ、派遣切り等で職を失った人に対して、居住の確保を支援する。
ジェネリック医薬品使用の医療費適正化	後発医薬品の使用を推進することによって医療費の適正化を図る。
自立相談支援事業	生活困窮者に対する相談窓口を設置し包括的な支援を行う。

（４）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（４）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

政策 1-1 誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります【重点政策】

施策 1-1-6 健康を支える保健・医療の充実⇒⇒「後期基本計画」p45



■■ 施策のねらい（めざす姿） ■■

すべての市民が生涯にわたって、健康で明るく、元気に暮らしています。


■■ 施策の成果目標値 ■■

指標名	単位	現状値	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
平均寿命（男）	歳	80.0 (22年度)	延伸	延伸	延伸
平均寿命（女）	歳	86.9 (22年度)	延伸	延伸	延伸
自分の健康に満足している率 (市民健康意識調査)	%	50.7 (25年度)	53	55	55
乳児死亡率（出生千 対）	人	0 (24年度)	減少	減少	減少

■■ 後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担 ■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な健（検）診を受診します。精密検査が必要となった場合は、早急に医療機関を受診します。 健康に対する正しい知識を習得し、自ら進んで健康づくりプログラムに参加します。 	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> 従業員に定期的な研修会等を通じて、啓発を行います。 健康づくりの発信源となります。 健康づくり事業に協力します。 	

■■ 「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策 ■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> 教室や講座の開催、広報やホームページ等を通じて、健康づくりに関する正しい情報の提供を行い、市民自らの健康づくりを支援します。 健（検）診を受けやすい環境をつくり、受診率の向上を目指します。 未受診者や、精密検査の未受診者へ受診勧奨を行います。 健康づくりを行うグループを育成し、身近で参加しやすい健康プログラムをつくります。 予防接種制度の改正等に対し、迅速に対応し、新しい情報を発信します。 	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> 事業者健康づくりに関する情報提供を行い、健康づくり事業を支援します。 事業者が健康づくりの発信源となるよう啓発をします。 	

基本事業（１） 健康づくりの推進

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

市民が健康に関する必要な情報を入手できるとともに、正しい知識を習得し、健康によい生活習慣を身につけています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (22年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
健康のため食事に気をつけている市民割合	%	76.2	78	78	80以上
運動習慣者の割合	%	男45.6 女35.0	維持	維持	維持
自分に合ったストレス解消法を持つ人の割合	%	77.6	維持	維持	維持
フッ化物洗口実施者数	人	2,012 (25年度)	3,900	7,000	7,000

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
食育推進事業	「早寝・早起き・朝ごはん」食育講演会 ・ わくわくクッキング ・ 中学生ヘルスリポーター養成事業等の継続実施 ・ 食育推進ボランティアの活動支援 ・ 食育推進部会 ・ 食育イベント ・ 食育関連コンクール
フッ化物洗口事業	小中学校でのフッ化物洗口を普及啓発し、歯質の強化を図り、子ども達が生涯にわたり健康な歯で過ごせるようにする。
自殺予防事業	自殺予防講演会 ・ 啓発媒体を利用した自殺予防教育 ・ のぼり旗、懸垂幕、腕章を活用した普及啓発
思春期健康教育関連事業	市内小、中学校の子ども達が命を大切に、自分の健康づくりの推進が図れるよう教育活動、関係機関の連絡会、研修を行う。

(1) -④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
P.6	フッ化物洗口事業	14,897	2,178	2,601	3,275	3,301	3,542

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外になし

基本事業（２） 地域医療体制の整備

(2) -①基本事業のねらい（めざす姿）

市民が、かかりつけ医を持つことにより安心して生活できています。
また、入院、高度医療等、必要に応じた医療の提供を受けています。

(2) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
かかりつけ医の役割を知っている人の割合	%	54.6 (22年度)	増加	増加	増加
病院・一般診療・医療機関数	機関	62 (24年度)	現状維持	現状維持	現状維持
市内への救急搬送割合	%	59.5 (25年度)	現状維持	現状維持	現状維持

(2) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
二次救急医療機関運営事業	船橋市との協定により、病院群輪番制の運営事業費を負担し、入院治療や手術を必要とする重症患者に対応する救急医療（二次救急）に対応する。

(2) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(2) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（3） 疾病予防・早期発見・早期治療の推進

（3）－①基本事業のねらい（めざす姿）

予防可能な感染症のまん延が防がれているとともに、病気の早期発見・早期治療がなされています。

（3）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
予防接種率（BCG）	%	89.4	現状維持	現状維持	現状維持
各種健（検）診の受診率（胃がん検診）	%	15.4	20	24	25

（3）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
予防接種事業	予防接種法に基づいた定期の予防接種を実施する。
がん検診事業	健康増進法等に基づいた胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮頸部がん検診を実施する。
妊婦健康診査	妊婦の健康診査について、市で助成する。
歯科検診台更新事業	歯科検診台の入れ替えを行い、歯科健診や歯科相談で継続して使用できるようにする。

（2）－④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
P.6	歯科検診台更新事業	6,395	6,395	0	0	0	0

（3）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外になし

政策1-2 生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります
 施策1-2-1 いきいきとした生涯学習の推進⇒⇒「後期基本計画」p47



■■施策のねらい(めざす姿)■■

市民が生涯を通じて学習に取り組み、その成果を地域で活かし、生きがいをもって生活しています。


■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
生涯学習をしている市民割合(市民意識調査)	%	55.1	67.0	69.0	70.0
学習施設利用者数	人	311,964	385,000	395,000	400,000
図書館資料貸出数	冊	410,564	435,000	445,000	450,000

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習への理解を深め、市民の生涯学習活動の支援に努めます。 	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> 多様な学習機会の提供を行います。 学習情報を収集し、情報提供を行います。 地域的バランスを考慮しつつ、学んだ成果を活かす活動の場・発表の場を提供します。 	

■■「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> 多種多様な課題やニーズに合った講座、講習を開催します。 生涯学習推進センターや学習センターにおいて、市民が学習した成果を発表する場を提供します。 学習活動やサークル活動を支援し、また、ホームページ等でサークル活動の情報を提供します。 	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> 団体やサークルの学習・活動成果を発表する場の提供、活動の輪が広がるよう、サークル情報の掲示をしてもらえるよう働きかけます。 	

基本事業(1) 生涯学習の環境づくり

(1)-①基本事業のねらい(めざす姿)

市民が生涯にわたり自ら学ぶための環境が整えられています。

(1)-②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
公共施設予約システム アクセス件数	件	30,259	28,000	29,500	30,000

平成26年7月に「まなびいネット」より名称変更

(1)-③「基本事業のねらい(めざす姿)」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
学習センター等改修事業	学習センター等の空調設備改修工事、屋上防水工事などを行う。
きらり鎌ヶ谷市民会館 整備事業	「人の集まる生活・文化拠点」の位置付けから、初富地区の活性化を推進するため、施設利用者駐車場の整備を行う。
図書館改修事業	図書館の空調設備更新を行う。
図書館蔵書・資料整備 事業	図書資料の購入を行う。
図書館情報ネットワー ク事業	図書館情報ネットワークの運用並びに更新を行う。

(1) -④多額の経費を要する事業等 (単位：千円)

別冊	事務事業名	総事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
P.7	学習センター等改修事業	197,265	160,607	36,658	0	0	0
P.7	きらり鎌ヶ谷市民会館整備事業	148,871	148,871	0	0	0	0
P.8	図書館改修事業	52,575	0	2,236	50,339	0	0
P.8	図書館蔵書・資料整備事業	75,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
P.9	図書館情報ネットワーク事業	40,947	6,220	6,220	4,300	4,300	19,907

(2) -⑤実施計画策定過程で検討した事業 (多額の経費を要する事業等)

※④で計上した事業以外なし

基本事業 (2) 生涯学習活動の推進

(1) -①基本事業のねらい (めざす姿)

多くの市民が生涯学習活動に参加し、自己を高めています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
学習センター登録サークル・団体数	団体	455	470	495	500
市主催講座参加者数	人	17,152	25,000	26,500	27,000

(1) -③「基本事業のねらい (めざす姿)」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
かまがやまなびい大学事業	各部担当の学部主催講座を実施するほか、市民主催の学習会や研修会に職員を講師として派遣する。
各種講座の実施	学習センター主催の各種講座を実施する。

(3) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(2) -⑤実施計画策定過程で検討した事業 (多額の経費を要する事業等)

※該当事務事業なし

基本事業 (3) 学習成果を活かす場づくり

(3) -①基本事業のねらい (めざす姿)

生涯学習活動の成果を地域で活かしています。

(3) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
公民館まつり参加者数	人	11,970	8,700	8,950	9,000

(3) -③「基本事業のねらい (めざす姿)」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
公民館まつり事業	公民館利用サークルの学習成果の発表を行うとともに、地域の人との交流を深める。

(3) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(3) -⑤実施計画策定過程で検討した事業 (多額の経費を要する事業等)

※該当事務事業なし

政策 1-2 生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります

施策 1-2-2 生涯スポーツ・レクリエーションの振興⇒⇒「後期基本計画」 p49



■■ 施策のねらい（めざす姿） ■■

スポーツをする市民が増え、一人ひとりが健康で明るい生活を送っています。


■■ 施策の成果目標値 ■■

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
1年間継続してスポーツをしている市民割合 (市民意識調査)	%	21.4	23.0	24.6	25.0
余暇時間にスポーツを行っている市民割合 (市民意識調査)	%	12.6	13.5	14.7	15.0

■■ 後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担 ■■

市民	・スポーツに親しみ、自らの生きがいや健康づくりに役立っています。	
事業者	・イベントの開催や場の提供などを通じて、市民のスポーツ活動を支援します。	

■■ 「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策 ■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	・スポーツに親しみ、自らの生きがいや健康づくりに役立つように、各種スポーツイベントや教室を実施します。	
事業者	・市民のスポーツ活動の支援を促進するよう、各種イベントや教室の周知を広報や、公共施設へのポスターの掲示等によりおこないます。	

基本事業（1） スポーツ活動の充実

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

スポーツ活動に参加する機会が増え、より多くの市民がスポーツに親しんでいます。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (24年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
スポーツイベント・教室参加者数	人	10,989	7,200	7,280	7,300

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
各種市民大会	スポーツ活動の機会を提供し、市民の健康体力づくりに寄与する。
新春マラソン大会	市内外や県外からの参加があり、大会を目指して日頃から練習する市民が増え、健康増進に寄与する。

(1) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（２） スポーツ関係団体・指導者の育成

（２）－①基本事業のねらい（めざす姿）

スポーツ団体・指導者が育成され、地域でのスポーツ活動が活発になっています。

（２）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
体育協会登録団体数	団体	26	増加	増加	増加

（２）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
体育協会加盟団体の育成	市民のニーズにあったスポーツを提供するため、各種団体や指導者の育成に努めます。

（２）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（２）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（３） スポーツ施設の整備・充実

（３）－①基本事業のねらい（めざす姿）

スポーツ施設をより多くの市民が快適に利用しています。

（３）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (24年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
スポーツ施設利用者数	人	326,780	288,000	292,800	294,000

（３）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
多目的グラウンド整備事業	中沢地区に多目的グラウンドを整備するための工事を行う。
陸上競技場改修事業	陸上競技場のフィールド・トラック・メインスタンドの改修を行う。
テニスコート改修事業	東初富テニスコートの人工芝が摩耗しているため張替を行う。
東野少年野球場改修事業	東野少年野球場B面1塁側に防球ネットの設置を行う。

（３）－④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
P.9	多目的グラウンド整備事業	31,371	27,551	955	955	955	955
P.10	陸上競技場改修事業	559,011	0	10,811	541,000	7,200	0
P.10	テニスコート改修事業	51,171	0	0	0	51,171	0
P.11	東野少年野球場改修事業	19,895	3,132	16,763	0	0	0

（３）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

政策 1-2 生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります

施策 1-2-3 芸術・文化の振興⇒⇒「後期基本計画」p51



■■施策のねらい（めざす姿）■■

地域に根ざした市民文化が創造され、その活動が広く展開されています。
また、歴史、文化遺産が適切に保存・継承され、周知・活用されています。


■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
市民文化祭等市主共催芸術文化事業参加・発表者数	人	1,910	2,500	2,620	2,800
指定文化財数	件	31	30	32	32

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に芸術文化を創造し、積極的に活動します。 郷土の歴史を正しく理解し、文化財の保護・継承・活用に努めます。 
事業者	<ul style="list-style-type: none"> 地域芸術文化振興の支援に努めます。 文化財の保護に努めます。 

■■「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策
市民	<ul style="list-style-type: none"> 芸術文化活動の機会や場の提供を行なうとともに、芸術文化団体への支援を行います。 市民の郷土の歴史、文化財に関する認知度、理解度を高めるため、調査、研究成果の情報を活用・提供します。 
事業者	<ul style="list-style-type: none"> 地域芸術文化振興の支援の機会を提供します。 文化財の市民周知事業にあたっての参加機会の創出をします。 文化財保護制度の周知を行います。

基本事業（1） 多様な市民文化活動の推進

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

芸術文化に親しむ機会と場が、団体等との協働により、広く提供されています。
また、市民の組織的かつ自主的な文化活動が行われるよう、文化団体が育成されています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
市民文化祭参加団体数	団体	125	138	138	138

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
市民文化祭	芸術文化に親しむ機会と場が、団体等との協働により広く提供され、市民の組織的かつ自主的な文化活動が行われるよう文化団体が育成されている。
美術展覧会	市民の優れた美術作品を広く紹介するとともに、美術に対する意識を高め、全市民的な視野に立って美術文化の振興と純化に資する。
芸術文化鑑賞事業	きらりホール自主公演を中心として、市民に優れた芸術文化を鑑賞する場、機会を提供する。

(1) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（２） 歴史・文化遺産の保存・継承・活用の推進

（２）－①基本事業のねらい（めざす姿）

歴史・文化遺産が適切に保存・継承されるとともに、周知・活用されています。

（２）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
市史等刊行図書数	点	56	57	60	60

（２）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
国史跡下総小金中野牧跡保存整備事業	国史跡を適正に保存管理し、活用に資するため、捕込の整備を行うとともに、野馬土手（民有地）の公有化を図る。また、未指定地を追加指定し、公有化を図る。
鎌ヶ谷市史編さん事業	『鎌ヶ谷市史』『資料編』『市史研究』などを刊行する。
埋蔵文化財発掘調査	開発等により消滅する埋蔵文化財について、発掘調査を実施し、報告書を刊行し、記録保存をする。

（２）－④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
P.11	国史跡下総小金中野牧跡保存整備事業	10,000	4,000	2,000	2,000	1,000	1,000
P.12	鎌ヶ谷市史編さん事業	22,090	8,790	13,300	0	0	0

（２）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

郷土資料館収集資料閲覧・公開環境整備事業、文化財体験・活用・保管センター建設事業

政策 1-3 人間性豊かな子どもの育成環境をつくります【重点政策】

施策 1-3-1 豊かな人間性を育む幼児教育の充実⇒⇒「後期基本計画」p53



■■施策のねらい（めざす姿）■■

家庭、幼稚園・保育所、地域社会の連携が深まり、幼児たちがいきいきと活動しています。


■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
市内幼稚園児・保育所 児童数	人	3,518	3,450	3,884	3,500

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	・労働条件の整備を進め、子育てしやすい職場環境づくりに努めます。	
事業者	・教育の充実及び子育て家庭の負担の軽減を図るために補助を行います。 ・家庭、幼稚園・保育所、地域社会の連携を支援します。	

■■「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	幼児教育を奨励し、子育て家庭の負担の軽減を図るために補助を行います。	
事業者	家庭、幼稚園・保育所、地域社会の連携を支援するため、補助を行います。	

基本事業（1） 幼児教育体制の充実

（1）-①基本事業のねらい（めざす姿）

家庭、幼稚園・保育所、地域社会の連携により、幼児に対する教育が行われています。

（1）-②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
幼稚園振興費補助金支 出件数	件	9	9	9	9

（1）-③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
私立幼稚園への補助	希望する全ての児童に幼児教育を提供するため、補助金を支出し、経費の軽減を図る。

（1）-④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（1）-⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（２） 幼稚園への就園奨励

（２）－①基本事業のねらい（めざす姿）

幼稚園の入園者に、適切な支援がなされています。

（２）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
幼稚園就園奨励費補助 金支出件数	件	2,134	2,000	2,000	1,900

（２）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
幼稚園保育料の補助	希望する全ての児童に幼児教育を提供するため、補助金を支出し、経費の軽減を図る。

（２）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（２）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

政策 1-3 人間性豊かな子どもの育成環境をつくります【重点政策】
 施策 1-3-2 生きる力を育てる義務教育の充実⇒⇒「後期基本計画」p55



■■施策のねらい（めざす姿）■■

良好な学習環境の中で、児童・生徒がたくましく生きる力を身につけています。


■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
少人数指導教員配置数	人	14	14	14	14
特別支援教育推進指導教員配置数	人	16	14	16	14
不登校児童生徒出現率	%	1.0	0.8	0.6	0.5
義務教育施設耐震化率	%	100.0	80.4	100.0	100.0

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> 家庭教育を充実させ、心身の調和のとれた子どもを育成します。 地域の教育力を高め、地域で子どもたちを育てます。 
事業者	<ul style="list-style-type: none"> 職場体験などへの協力により、「生き方教育（キャリア教育）」の支援を行います。 

■■「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策
市民	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育や家庭教育の充実をはかります。 少人数教育や特別支援教育を積極的に推進します。 安全・安心な教育環境づくりを推進します。 
事業者	職場体験などへの「生き方教育（キャリア教育）」の支援協力を推進します。

基本事業（1） 地域とともに育つ特色ある学校づくり

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

児童・生徒の基礎学力が高められているとともに、一人ひとりの個性や生きる力を伸ばす教育が進められています。また、学校と家庭、地域社会が一体となって教育活動に取り組んでいます。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
特別支援教育推進指導教員配置人数	人	16	14	16	14
学校支援ボランティア数	人	551	現状維持	現状維持	現状維持

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
特別支援教育推進事業	特別支援教育推進指導教員（ほほえみ先生）を全校に配置し、児童生徒個々のニーズに応じた支援を行う。
小中学校コンピュータリニューアル事業（H28）	コンピュータのリニューアルにより情報教育の充実を図る。
少人数教育推進事業	児童生徒に「確かな学力」を身につけさせるため、一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行う。
学校地域支援事業	保護者や地域の方々にボランティアとして支援していただき、学校の教育活動の活性化を図る。
学校図書館司書配置事業	全小中学校に司書を配置し、児童生徒に充実した読書環境を提供する。

(1) -④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
P.13	特別支援教育推進事業	0	0	0	0	0	0

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

基本事業（２） 専門性と社会性を備えた教職員の育成

(2)－①基本事業のねらい（めざす姿）

教職員が新たな学習課題に応じた高い専門性を身につけるとともに、幅広い視野と社会性を兼ね備え、指導にあたっています。

(2)－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
教職員研修受講割合	%	100	100	100	100

(2)－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
鎌ヶ谷市教育委員会指導訪問	教育委員会等の指導主事が各学校を訪問し、指導方法等の指導を行う。
研究指定校助成	市内の小中学校を研究指定校に指定し、指導方法等の研究を助成する。
学力向上検討委員会	業者テストによる調査結果を分析し課題を明確化し、授業改善の手立てを構築し、学力向上を図る。
道徳授業研修会	魅力ある道徳の授業をめざした研修を推進し、道徳教育の充実を図る。

(2)－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(2)－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（３） 安全・安心な教育環境づくり

(3)－①基本事業のねらい（めざす姿）

児童・生徒が安全で快適な環境で学んでいます。

(3)－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
改修済み施設数	棟	51	51 (H25完了)		
スクールカウンセラー相談件数	件	889	減少	減少	減少

(3)－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
スクールカウンセラー事業	児童・生徒の生活上の悩みごとに対して専門職員を配置して対応する。
義務教育施設維持補修事業	小中学校の施設及び設備の改修工事を行う。
義務教育施設空調設備設置事業	夏季の学習環境の向上を図る為、空調設備を設置する。

(3)－④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
P.13	義務教育施設維持補修事業	1,064,248	202,192	166,994	255,538	279,957	159,567
P.13	義務教育施設空調設備設置事業	699,280	699,280	0	0	0	0

(3)－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

義務教育施設校舎増築事業

政策1-3 人間性豊かな子どもの育成環境をつくります【重点政策】

施策1-3-3 児童・生徒の健康と安全の確保⇒⇒「後期基本計画」p57



■■施策のねらい（めざす姿）■■

すべての児童・生徒が心身ともに健康で安全な学校生活を送っています。


■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
学校災害件数の割合	%	6.5	5.5	5.1	5.0
子ども安全メール登録者数	人	5,163	6,200	6,840	7,000
学校給食残菜率	%	14.2	13.2	12.3	12.0

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者は、子どもの健康管理に努めます。 ・子どもの安全に関心をもち、地域の子どもたちを見守ります。 ・食に対する正しい理解と望ましい習慣を身につけます。 	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・市民・行政との協働により、犯罪防止活動に協力します。 ・従業員に安全運転、交通マナーを啓発します。 	

■■「市民」「事業者」が役割を担うためにとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年度、新たに青少年補導員として委嘱する学校役員（PTA約30～40人）に「こども110番の家」、「子ども安全メール」の周知を図るとともに、機会あるごとに市民への啓発活動を行います。 ・通学路安全対策推進行動計画に係る情報などを、市広報やホームページを通して市民にお知らせします。 ・安全で安心な美味しい学校給食の提供を図るとともに、新たに整備された学校給食センターの活用と共に、食に対する理解を高めます。 	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・該当補導に際し、情報提供依頼をするとともに、「こども110番の家」、「子ども安全メール」の啓発を行います。 ・安全運転意識向上のため、通学路に注意喚起、事故防止を呼びかける看板、標識等の設置を行います。 	

基本事業（1） 保健安全教育の充実

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

児童・生徒が健康や安全に関する知識を得、自ら健康管理を行い、安全に対する心構えをもっています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
学校定期健康診断受診率	%	98	100	100	100
災害共済給付申請率 (学校災害発生件数の割合)	%	6.5	5.5	5.1	5.0

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
定期健康診断	内科、眼科、耳鼻科、歯科健康診断
小中学校環境検査	照度・照明検査、空気検査、空気総合環境衛生検査等

(1) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（２） 児童・生徒の安全確保

(2) - ①基本事業のねらい（めざす姿）

家庭、学校、地域が連携して児童・生徒の安全確保に取り組んでいます。

(2) - ②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
「こども110番の家」協力者数	件	1,189	1,250	1,322	1,340
子ども安全メール登録者数	件	5,163	6,200	6,840	7,000

(2) - ③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
通学路整備事業	第二次通学路安全対策推進行動計画(23年度～27年度)に基づき通学路整備を行う。
児童生徒安全パトロール事業	児童生徒の下校時刻頃から夕方までの時間帯に通学路を中心として、パトロールを実施する。
こども110番の家及び子ども安全メールの啓発	こども110番の家の増設および子ども安全メールの登録者数増に努め、こどもの安全を見守る意識を啓発する。

(2) - ④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
P.14	通学路整備事業	263,350	39,600	22,000	50,250	75,750	75,750

※「児童安全・安心パトロール事業」は、他施策で計上（施策NO233「防犯対策の促進」）。

(2) - ⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

基本事業（３） 学校給食の充実と施設の整備

(3) - ①基本事業のねらい（めざす姿）

児童・生徒が安全で安心な給食を楽しみ、食に対する理解や望ましい習慣のための学習の場として活用しています。

(3) - ②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
学校給食アレルギー対応品目数	品	0	3	7	7
学校給食残菜率	%	14.2	13.2	12.3	12.0

(3) - ③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
安全で安心な学校給食の継続提供	PFI方式を導入した学校給食事業においても、安全で安心な学校給食の提供を図ります。
食育の推進	学校給食センター施設の活用を図り、食に関する指導を充実させます。
アレルギー対応食の提供	アレルゲンの一部を除去するアレルギー対応食の提供を図ります。

(3) - ④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(3) - ⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

政策 1-3 人間性豊かな子どもの育成環境をつくります【重点政策】

施策 1-3-4 高等教育の充実⇒⇒「後期基本計画」p59



■■施策のねらい（めざす姿）■■

義務教育修了後の生徒が、その能力や適性に応じて幅広い進路選択ができています。自己実現を図るための高度で専門的な学習環境が提供され、市民の学習ニーズが満たされています。


■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
オープンカレッジかまがや参加者数	人	640	1,000	1,150	1,200

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの能力や適性に応じた進路選択に努めます。 多様な学習機会に参加し、専門的な知識を習得します。 	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> 高度な学習機会の提供に努めます。 	

■■「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	学習センター講座の充実を図ります。	
事業者	学習センター講座の充実を図ります。	

基本事業（1） 義務教育修了者の進路選択への支援

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

義務教育修了後の生徒一人ひとりの教育機会が確保されています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
高等学校進学率	%	98.9	現状維持	現状維持	現状維持

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
幅広い進路選択に向けた情報の提供	上級学校の体験説明会の情報を提供したり、保護者会で高校の先生を招いて説明会を実施する。

(1) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（２） 高度学習ニーズへの対応

（２）－①基本事業のねらい（めざす姿）

高等教育機関との連携等により、市民の高度化した学習ニーズへの対応がなされています。

（２）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
オープンカレッジかま がや参加者数	人	640	1,000	1,150	1,200

（２）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
オープンカレッジかま がや	大学のもつ高度な教育機能を市民に開放するため、大学講師による開放講座を行う。

（２）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（２）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

政策 1-3 人間性豊かな子どもの育成環境をつくります【重点政策】

施策 1-3-5 青少年の健全育成⇒⇒「後期基本計画」p61



■■施策のねらい（めざす姿）■■

青少年が、社会性や社会規範を身につけ、自己を確立し、協調性や連帯感を育んでいます。


■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
地域見守り活動従事者数（延べ）	人	962	1,250	1,275	1,300
ジュニアリーダースクラブ新規加入者数	人	8	3	3	3

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成活動に参画・協力します。 ・家庭・地域の教育力を高めます。 ・補導活動に協力します。 
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年の健全育成に努めます。 

■■「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年関係団体間の連携に協力し、団体の充実を図るとともに、青少年リーダー育成事業を協働で実施します。 ・家庭・地域の教育力を高めるための啓発及び講演会等を行います。 ・学校、PTA、その他関係機関に補導員の協力を行います。 
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者に青少年健全育成啓発の協力を求めます。 ・青少年の非行防止対策に協力を依頼します。

基本事業（1） 青少年の育成指導体制の充実

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

学校、家庭、地域社会、行政が相互に連携し、青少年の健全育成に取り組んでいます。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
青少年団体会員数	人	1,260	1,272	1,272	1,272

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
青少年団体の支援及び育成	青少年関係団体の活動を支援し、育成を行う。
青少年リーダーの育成	元気っ子ゼミナールなどの体験活動及び指導者研修会を通し、青少年リーダーを育成する。

(1) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（２） 青少年の社会参加・体験活動の機会づくり

(2)－①基本事業のねらい（めざす姿）

青少年が、社会体験や人びととの交流を通じて社会性や社会規範を身につけ、自立心や思いやりの心を培っています。

(2)－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
青少年社会参加・体験活動参加者数	人	10,240	5,000	6,100	5,800

(2)－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
社会参加・体験活動事業	子ども達を対象にした社会体験・自然体験の機会を提供する。

(2)－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(2)－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（３） 非行防止対策の推進

(3)－①基本事業のねらい（めざす姿）

家庭、学校、地域が連携して非行の早期発見・早期指導に取り組んでいます。

(3)－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
街頭補導従事者数（延べ）	人	962	1,250	1,275	1,300

(3)－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
街頭補導活動	学校、地域、関係機関からの情報をもとに非行や不審者等に対する積極的なパトロールを実施する。

(3)－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(3)－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（４） 家庭・地域の教育力の向上

（４）－①基本事業のねらい（めざす姿）

保護者が家庭教育の大切さを認識し、実践しています。
また、地域社会が青少年を見守り、健全に育てています。

（４）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
「おやじの会」等設立数	団体	7	9	9	10

（４）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
家庭教育に関する講座の実施	学習センター主催の家庭教育セミナー、親子セミナー、親子おはなし会等を実施する。
父親の家庭・地域への参加促進事業	家庭・地域での父親の参加を促す啓発事業を実施する。

（４）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（４）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

政策1-4 個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります

施策1-4-1 個性豊かなコミュニティづくり⇒⇒「後期基本計画」p63



■■施策のねらい(めざす姿)■■

地域コミュニティ活動や、テーマに沿った市民活動が盛んに行われ、市民一人ひとりが地域社会の中で役割を認識しています。
地域のきずながあり、特色のあるコミュニティが形成され、安心して暮らしています。


■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
自治会加入世帯数	世帯	29,407	29,500	29,740	29,800
市民活動推進センター登録団体数	団体	120	90	120	105
過去1年間に地域活動をした市民割合 (市民意識調査)	%	61.2	66.0	67.0	68.0

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> 自治会活動や市民活動に積極的に参加します。 地域住民同士が交流を深めます。 
事業者	<ul style="list-style-type: none"> 地域の一員として、自治会活動や市民活動を応援します。 開発事業者は、自治会への市民参加を啓発します。 

■■「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策
市民	<ul style="list-style-type: none"> 広報、ホームページ等により自治会活動や市民活動に関する情報を提供します。 自治会集会所の整備に対する補助等を促進し、地域コミュニティ活動を支援していきます。 
事業者	<ul style="list-style-type: none"> 開発事業者には、入居者に対し自治会への加入促進を図るための啓発に協力を依頼します。 地域の一員である地元企業、施設、病院等と一緒に自治会活動(盆踊りや催しものへの参加など)に取り組むよう促していきます。

基本事業(1) 地域社会との関わり意識の醸成

(1)-①基本事業のねらい(めざす姿)

地域社会に関心を持ち、主体的にまちづくりに関わろうとする市民の意識が高まっています。

(1)-②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
自治会加入世帯数	世帯	29,407	29,500	29,740	29,800
「市政に参加したい」と思う市民割合 (市民意識調査)	%	32.1	30.2	32.1	31.7

(1)-③「基本事業のねらい(めざす姿)」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
自治会加入促進対策の実施	ホームページやパンフレット等を作成し、自治会加入についての啓発を行う。
鎌ヶ谷市自治会連合協議会に対する支援	鎌ヶ谷市自治会連合協議会の運営に要する経費に対して補助金を交付し、より活発な活動が行えるよう支援する。
市民まつり実行委員会への支援	鎌ヶ谷市民まつり実行委員会に対し経費の一部を負担することにより、より活発な祭りが行えるよう支援する。

(1)-④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1)-⑤実施計画策定過程で検討した事業(多額の経費を要する事業等)

※該当事務事業なし

基本事業（２） コミュニティ施設の整備と管理

（２）－①基本事業のねらい（めざす姿）

地域コミュニティ活動や市民活動がしやすい環境が整っています。

（２）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
コミュニティセンター利用者数（年間）	人	107,748	105,000	107,748	105,000

（２）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
自治会集会所整備に対する支援（自治会集会所整備助成事業）	より活発な自治会活動が行えるよう、自治会活動の拠点である集会所の整備等に要する経費の一部を補助金として交付する。
コミュニティセンターの改修（コミュニティセンター等改修事業）	経年劣化したコミュニティセンター等の外壁・屋上防水工事及び空調設備等の改修工事を行う。
北中沢コミュニティセンター来館者駐車場用地購入事業	来館者の利便性向上を図るため、北中沢コミュニティセンター来館者駐車場用の用地を取得する。

（２）－④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
P.15	自治会集会所整備助成事業	166,500	33,000	34,500	33,000	33,000	33,000
P.15	コミュニティセンター等改修事業	35,783	1,578	15,422	18,783	0	0
P.16	北中沢コミュニティセンター来館者駐車場用地購入事業	14,170	0	7,721	2,126	2,173	2,150

（２）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

基本事業（３） 市民の組織的まちづくり活動の促進

（３）－①基本事業のねらい（めざす姿）

地域コミュニティ活動や、テーマに沿った市民活動が盛んに行われています。

（３）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
市内NPO法人数	法人	31	27	31	32
市民活動推進センター登録団体数	団体	120	90	120	105

（３）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
市民活動推進センターの機能の充実	団体運営などに対する助言や相談を行う。また、ホームページやセンターだより等で、団体の活動状況や活動支援・助成情報などの提供を行う。
市民活動推進に関するセミナー等の開催	まちづくり意識の醸成を図るため、セミナー等を開催する。

（３）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（３）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

政策 1-4 個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります

施策 1-4-2 市民生活を支える地域情報化の推進⇒⇒「後期基本計画」 p65



■■ 施策のねらい（めざす姿） ■■

市民が情報通信システムを活用し、必要な情報を入手したり、時間や距離に制限されない交流をしています。

■■ 施策の成果目標値 ■■


指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
市ホームページ年間アクセス数	件	409,161	410,000	418,000	420,000
まなびいネット利用件数	件	30,264	53,500	55,000	56,000

■■ 後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担 ■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> 正しいICT 知識を身につけると同時に、情報通信機器（パソコン、携帯電話、モバイル端末など）を生活に活用します。 
事業者	<ul style="list-style-type: none"> 市民生活に役立つ情報を分かりやすく提供します。 

■■ 「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策 ■■

まちづくり主体	行政がとる方策
市民	ICTの向上を図ると同時に、市民に必要な行政情報を分かりやすく提供します。
事業者	ICTを活用し、市民ニーズに合った的確な情報発信を推進します。



基本事業（1） ICT知識の啓発

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

市民の情報通信機器及びシステムに関する知識が向上しています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
まなびい大学などのICT関係講座の開催数	講座	10	11	11	11

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
ICT関係の生涯学習講座	ICT（情報通信技術）に関する講座を開催します。

(1) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（２） 地域情報システムの基盤整備

（２）－①基本事業のねらい（めざす姿）

市民が、多様な情報通信機器を活用し、必要な情報をより入手しやすくなっています。また各種行政手続きがオンラインやワンストップサービスで行われています。

（２）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
市ホームページ年間アクセス数	件	409,161	410,000	418,000	420,000
まなびいネット利用件数	件	30,264	53,500	55,000	56,000

（２）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
市ホームページの運用	ホームページによる市の概要や市政の情報提供を行う。
電子入札事業	入札・契約情報をインターネット上に広く公開し、透明性、公平性の向上と手続の効率化を図る。

（２）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（２）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

統合型GIS導入事業

基本事業（３） 情報通信システムのまちづくりへの活用

（３）－①基本事業のねらい（めざす姿）

情報通信システムがまちづくりに活用されています。

（３）－②基本事業の成果目標値

現状値はスパムメールを含む

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
電子メール受信数	件	394,392	120,000	120,000	120,000

（３）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
市ホームページの運用	市の施策を公開すると共に、パブリックコメント等を実施する。

（３）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（３）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

政策 1-4 個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります

施策 1-4-3 男女共同参画社会づくり⇒⇒「後期基本計画」p67



■■ 施策のねらい (めざす姿) ■■

男女が互いに人間として平等に尊重されつつ、責任を分かち合い、その個性と能力を十分に発揮し、いきいきと暮らしています。


■■ 施策の成果目標値 ■■

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
男女が平等であると考える市民割合	%	20.1	30.0	34.0	35.0
審議会等女性委員割合	%	21.8	27.0	29.4	30.0

■■ 後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担 ■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナーや研修会等の啓発事業へ主体的に参画します。 ・社会のあらゆる分野において男女共同参画社会づくりへ寄与します。 ・男女平等の視点をもって、慣行や古いしきたりを見直します。 
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・男女ともに能力を発揮し、働きやすい職場環境をつくります。 ・子育てや介護を続けながら働ける環境づくりに努めます。 

■■ 「市民」「事業者」が役割を担うために男性がとる方策 ■■

まちづくり主体	行政がとる方策
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画への認識を深め行動できるよう、市民が参加できるセミナーや研修会を開催します。 ・男女共同参画について、ホームページや情報誌で啓発を行います。 
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画、ワーク・ライフ・バランスについて認識を深め行動できるよう、事業者が参加できるセミナーや研修会を開催します。 ・男女共同参画、ワーク・ライフ・バランスについての啓発事業を行います。 ・男女共同参画、ワーク・ライフ・バランスについての啓発事業を事業者が自ら行うよう働きかけます。

基本事業 (1) 男女平等意識の醸成と普及・啓発

(1) -①基本事業のねらい (めざす姿)

市民の間に広く男女平等意識が育っています。市民がそれぞれ機会や生き方の可能性が平等であると感じています。また、女性・男性に対するあらゆる暴力がありません。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
男女が平等であると考える市民割合 (市民意識調査)	%	20.1	30.0	34.0	35.0
男女共同参画推進センター主催事業参加者数	人	656	800	960	1,000
DV予防講座受講者数	人	216	280	440	480

(1) -③「基本事業のねらい (めざす姿)」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
男女共同参画についてのセミナー開催	男女共同参画について市民の意識が深まるよう男女共同参画セミナーを開催する。
男女共同参画推進センター機能の充実	団体等の運営に係る助言や相談、交流の場の提供などにより団体等の育成を図る。
男女共同参画についての啓発	男女共同参画への理解を深めていくため情報誌の発行を行う。
女性のための相談体制の充実	「女性のための相談」を広く周知し、相談しやすい体制づくりを行う。

(1) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業 (多額の経費を要する事業等)

※該当事務事業なし

基本事業（２） 女性の政策・方針決定過程への参画

(2) -①基本事業のねらい（めざす姿）

政策・方針決定過程に関わる女性が増えています。

(2) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
審議会等女性委員割合	%	21.8 (25年度)	27.0	29.4	30.0
女性職員の管理職比率	%	14.5 (26年度)	12.5	19.0	20.0
女性教員の管理職比率	%	17.2 (26年度)	15.4	20.0	20.0

(2) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
男女共同参画についてのセミナー開催	男女共同参画について懇話会委員や市議会議員・職員・教員の意識が深まるよう男女共同参画セミナーを開催する。
男女共同参画計画の推進	計画どおり推進するため、進捗状況の管理及び評価を男女共同参画推進懇話会で行う。
審議会等における保育円滑支援	政策・方針決定過程に関わる審議会等について、保育付で実施し子育て中の方の積極的な参加を促す

(2) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(2) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（３） 女性の就労支援と環境の整備

(3) -①基本事業のねらい（めざす姿）

就労を希望する女性・就労している女性に対して適切な支援が行われています。

(3) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
就学前人口に対する保育所入所率	%	17.2	16.5	18.0	18.0

(3) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
男女共同参画についてのセミナー開催	女性の雇用分野における課題についてのセミナーを開催する。
男女共同参画についての啓発	女性の雇用分野における課題について、情報誌などでの啓発・積極的な情報提供に努める。

(3) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(3) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

政策 1-4 個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります
 施策 1-4-4 世界と結びつく国際化の促進⇒⇒「後期基本計画」p69



■■施策のねらい（めざす姿）■■

市民による国際交流が盛んに行われています。
 国際平和の意識が高く、様々な分野で国際化への対応が行われています。
 外国人にも暮らしやすい鎌ヶ谷市になっています。

■■施策の成果目標値■■


指標名	単位	現状値	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
通訳ボランティア登録 人数	人	26 (26年度)	28	30	30
姉妹都市ワカタネを 知っている人の割合	%	45.1 (25年度)	60.0	64.0	65.0

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や地域に根ざした多文化共生社会（※1）のための活動に主体的に取り組めます。 ・平和の尊さ・戦争の悲惨さを認識し、後世に伝えます。 
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人にも利用しやすいサービスの提供や適切な労働環境の整備に努めます。 

※1 多文化共生：海外出身者や国籍の異なる人々がお互いの文化的な違いを尊重しあい、地域の一員として暮らすことのできる状態

■■「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生推進センターと多文化共生推進連絡協議会の協働により、市民の国際化や在住外国人との交流に繋がる様々な取り組みを積極的に展開していきます。 ・平和の尊さ・戦争の悲惨さを認識するためのパネル展示などの機会を提供します。 
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査等から外国人市民のニーズを把握し、積極的な情報発信を行っていきます。

基本事業（1） 国際交流のきっかけづくり

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

市民の国際交流の推進やネットワークの構築など、交流のきっかけづくりが行われています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
国際交流協会イベント 参加者数	人	673	750	790	800
姉妹都市交流事業実施 回数	回	0	3	3	3

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
地域における草の根交流の推進	国際交流団体主催による日本文化の体験事業や在住外国人との交流イベントの支援
交流組織の強化と人材育成	国際交流団体に対する各種支援やボランティアの育成
姉妹都市交流など海外との交流促進	ワカタネの学生の受け入れにあたってのホスト募集や交流イベント、学校を通じた交流

(1) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（２） 国際化の意識づくり

(2) - ①基本事業のねらい（めざす姿）

日本人と外国人の相互理解など、国際化の意識が浸透しています。
また、すべての人が平和の尊さを認識し、恒久平和の実現に努めています。

(2) - ②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
国際交流・国際協力活動に参加した人の割合 (市民意識調査)	%	—	2.0	2.5	3.0
平和関連行事に対する市の後援数	件	6	8	8	8

(2) - ③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
平和への取り組み	終戦記念日等における平和関連事業や普及イベントの開催・支援
多文化共生に関する教育の充実	総合学習等を通じた多文化共生の学習の機会づくり、多文化共生をテーマとした生涯学習講座や講演会の開催など

(2) - ④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(2) - ⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（３） 外国人にも暮らしやすい環境づくり

(3) - ①基本事業のねらい（めざす姿）

行政サービスや情報の提供・収集が充実し、外国人にも暮らしやすい環境が整えられています。

(3) - ②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
語学ボランティア派遣数	回	12	15	15	15
行政資料の新規翻訳数	件	19	19	19	19
国際交流協会日本語教室参加者数	人/回	16	25	29	30

(3) - ③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
生活支援の充実	総合学習等を通じた多文化共生の学習の機会づくり、多文化共生をテーマとした生涯学習講座や講演会の開催など
外国人住民への学習の機会の提供	学校への語学ボランティアの派遣や日本語教室、日本の生活習慣を学ぶ講座の開催
多文化共生推進センター機能の充実	平成26年4月にオープンしたセンターを市の国際化の拠点施設とするべく、機能の充実を図る。

(3) - ④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(3) - ⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本目標 2

「自然と社会が調和する環境共生都市」
をめざして

基本目標 2 「自然と社会が調和する 環境共生都市」をめざして

政策 2-1 人と自然にやさしい地域社会をつくります

施策 2-1-1 環境保全の促進⇒⇒「後期基本計画」p71



■■施策のねらい(めざす姿)■■

市民一人ひとりの環境意識が高まり、身近な生活環境や自然環境、そして地球環境までに配慮した生活をおくっています。
市民・事業者・行政が協働して環境保全活動に取り組んでいます。


■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
河川の水質BOD値	mg/L	7.4	9.0以下	6.0以下	5.0以下
市内全域の温室効果ガス排出削減率	%	—	—	—	25

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会で環境保全活動に取り組みます。 ・エネルギーの効率的利用を行います。 ・都市生活型公害にかかる対応については当事者において完結する意識で対応します。 	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・企業としての社会的責任を理解して、環境保全活動に積極的に取り組めます。 	

■■「市民」「事業者」が役割を担うためにとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に対する現状認識と良好な環境を保つための意識づくりを醸成します。 ・日常生活の中で省エネルギー化意識を啓発します。 ・自らの環境を自らで守るための情報の提供をアドバイスの機会を充実します。 	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・企業としての社会的責任に訴え、企業が環境保全活動を積極的に取り組めるように誘導します。 ・企業間同士が互いに考え連携、連絡が図れる機会づくりを行います。 	

基本事業(1) 環境保全活動の促進と市民参加

(1) -①基本事業のねらい(めざす姿)

市民が環境保全に関する正しい知識を習得し、生活習慣を身につけています。
また、環境保全活動に市民が参加しています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
環境保全活動団体数	団体	11	増加	増加	増加

(1) -③「基本事業のねらい(めざす姿)」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
環境フェアの開催	環境保全への関心を深め、行動することを目指して、市民・事業者・行政が協働で開催する。
環境市民会議等の充実	市民、事業者、行政が協働して環境保全活動を行い、環境基本計画を推進する。
水質浄化活動	各河川及びその流域(真間川・手賀沼・印旛沼等)の水質浄化のための普及啓発及び環境保全と良好な生活環境の保全を図る。

(1) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業(多額の経費を要する事業等)

※該当事務事業なし

基本事業（２） 環境保全への監視・指導体制の充実

(2) - ①基本事業のねらい（めざす姿）

環境保全に関する監視が適切に行われ、必要な指導が徹底されています。

(2) - ②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
公害苦情相談受付件数	件	169	減少	減少	減少

(2) - ③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
公害苦情相談の受付・指導	公害に関する苦情・相談内容を的確に把握し、適正な指導を行う。
市内公共用水域水質調査	河川等の汚濁状況を調査し、汚濁防止の指針とする。
航空機騒音調査	下総飛行場を利用する航空機の航空機騒音の事態を把握する。

(2) - ④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(2) - ⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（３） 環境保全へのルール・計画づくり

(3) - ①基本事業のねらい（めざす姿）

環境保全活動に取り組むためのルールや計画が明確になっています。

(3) - ②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
環境計画策定・改定市民関与数	人	402	増加	増加	増加

(3) - ③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
鎌ヶ谷市環境基本計画の推進	環境に関する施策を総合的かつ計画的に推進する。
自然環境調査	市内の自然環境の調査を行う。

(3) - ④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(3) - ⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

政策 2-1 人と自然にやさしい地域社会をつくります
 施策 2-1-2 循環型社会の構築⇒⇒「後期基本計画」p73



■■施策のねらい（めざす姿）■■

市民の資源の保全に関する意識が高まり、市民・事業者・行政が協働して、ごみ減量化、リサイクルへの積極的な取り組みが進められています。


■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
資源化率	%	24.7	上昇	上昇	上昇
最終処分率	%	8.4	減少	減少	減少

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの分別を徹底し、ごみの減量化を図ります。 ・再生資源を使用した製品を購入します。 ・物を大事に使用し、ごみを出さないようにします。 ・子どもから大人までを対象にした3Rについての学習を行い、循環型社会に向けた意識の高揚を図ります。 ・子どもから大人まで地域ぐるみで環境美化に取り組みます。 	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの減量化を図るとともに、自己処理を徹底します。 ・ごみとして廃棄されることが少なくなるように、物を製造・加工・販売します。 	

■■「市民」「事業者」が役割を担うため行政がとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・市民に生ごみ処理容器の補助金について、広報でPR ・小学生（1年生と4年生）にパンフレット配布・有価物回収運動の促進 	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者が、生活系のごみステーションを使わないように広報でPRすることで、生活系に出される事業所からのごみが減る（業者は、経費節減のため、自助努力する） ・再資源化に関する情報の提供 	

基本事業（1） ごみ減量の促進

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

市民や事業者がなるべくごみを出さないようにしています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
市民1人1日当たりごみ排出量	g	629	減少	減少	減少

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
生ごみ処理容器の設置促進	家庭から出る生ごみを処理容器設置により、自主処分を行い、ごみとして出さない。
ごみの分別徹底周知	ごみの分別を行うことにより、資源になるものは再利用し、焼却するものと、そうではないものに分け、ごみの減量化を図る。
生ごみの水切りの徹底	生ごみを排出するときに水切りをし、燃えやすくするとともに、ごみの減量につなげる。
環境美化対策推進協議会との連携強化	環境美化対策推進協議会と連携し、地域が自発的、積極的に地域の環境美化運動を開催してくれるよう促し、ごみの減量化を図る。

(1) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（２） リユースの促進

(2)－①基本事業のねらい（めざす姿）

物を大切にし、「壊れたら捨てる」から繰り返し利用しようとする意識が高まっています。

(2)－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (32年度)	目標値 (32年度)
リサイクル情報の掲載 件数	件	21	増加	増加	増加

(2)－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
リサイクルフェアの開催	再利用を目的とした大規模なイベントを開催し、ごみとして出されたものを有効活用していただく。
広報掲載	不要になったがまだ使えるものを、広報を通じてやり取りすることにより、再利用の件数を増やし、ごみを減量する。

(2)－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(2)－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（３） リサイクルの促進

(3)－①基本事業のねらい（めざす姿）

ごみ分別の徹底、リサイクルの促進により、資源の有効利用がなされています。

(3)－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
資源化率	%	24.7	上昇	上昇	上昇

(3)－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
小学生にごみ分別の大切さをチラシで配布	小学1年生（初めて小学生）・小学4年生（初めて高学年）を対象に、ごみの分別の大切さ、ポイ捨て禁止の大事さをパンフレットにして家庭に持ち帰って頂き家族で再認識してもらう。
使用済み小型家電リサイクルの促進	小型家電リサイクル法の施行に伴い、対象品目のリサイクル体制を整備する。
ごみステーション管理等システムの導入	ごみステーションに係る情報や市民からの問い合わせ事項等を一元的に管理するシステムを導入する。

(3)－④多額の経費を要する事業等

別冊	事務事業名	総事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
P.17	ごみステーション管理等システム導入事業	9,215	5,154	907	907	1,340	907

(3)－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

基本事業（４） 最終処分量の減量の促進

（４）－①基本事業のねらい（めざす姿）

中間処理や資源化により、最終処分量の減量がなされています。

（４）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (29年度)	目標値 (32年度)
最終処分量	t	2,691	減少	減少	減少

（４）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
クリーンセンターしらさぎダイオキシン類対策事業	可燃ごみ等の焼却により発生するダイオキシン類を抑制するため組合負担金を支出する。

（４）－④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
P.17	クリーンセンターしらさぎダイオキシン類対策事業	144,521	144,521	0	0	0	0

（４）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

不燃ごみ破碎選別施設建設事業、クリーンセンターしらさぎ長寿命化対策事業、軽井沢地区用地取得事業

政策 2-2 快適な暮らしの環境をつくります

施策 2-2-1 良好な住宅の整備⇒⇒「後期基本計画」p75



■■ 施策のねらい（めざす姿） ■■

市民が、良好な居住環境の下、良質な住宅で暮らしています。


■■ 施策の成果目標値 ■■

指標名	単位	現状値	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
工事完了検査率	%	94.9 (24年度)	88.0	100.0	100.0
無料耐震診断相談会申込者への診断実施率	%	100 (25年度)	100.0	100.0	100.0

■■ 後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担 ■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> ・建築関係法令に対する正しい意識をもちます。 ・建築物を適正に維持管理します。 ・新築、増改築時等は法令を遵守し、完了時に検査を受けます。 
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・依頼人に対して適正に法令の説明をします。（法令遵守と説明責任を果たします。） ・行政と協力して市民に対して住情報を提供します。 

■■ 「市民」「事業者」が役割を担うためにとる方策 ■■

まちづくり主体	行政がとる方策
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が安全で快適に暮らすことのできる環境を構築するための情報提供窓口を整えます。 ・建築パトロール等を通じて、違反建築物の早期発見、是正に努めます。 
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・新築、リフォーム、耐震補強等を行う際に、事業者からも市民に住情報を提供していただくため、情報提供窓口を整えます。

基本事業（1） 良好な住環境の確保

（1）-①基本事業のねらい（めざす姿）

違反建築や乱開発を防止し、住環境が向上しています。

（1）-②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (24年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
工事完了検査率	%	94.9	88.0	100.0	100.0

（1）-③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
建築パトロールの実施	年12回建築パトロールを実施します。
リサイクルパトロールの実施	年12回リサイクルパトロールを実施します。

（1）-④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（1）-⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（２） 安全で快適な住宅の整備

(2)－①基本事業のねらい（めざす姿）

地震に対する安全性の向上など、市民が安全・安心に居住できる住環境が整備されています。

(2)－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
無料耐震診断相談会申込者への診断実施率	%	100.0	100.0	100.0	100.0

(2)－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
住宅耐震改修促進事業	簡易耐震診断及び相談を無料で実施します。また、精密診断費、改修設計費、工事監理費、改修工事費の補助を行います。

(2)－④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
P.18	住宅耐震改修促進事業	35,900	7,180	7,180	7,180	7,180	7,180

(2)－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

基本事業（３） 住みよい公営住宅の充実

(3)－①基本事業のねらい（めざす姿）

必要とする市民に公営住宅が提供されるとともに、その住環境が改善されています。

(3)－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
市営住宅入居率	%	100	100	100	100

(3)－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
市営住宅内外装及び設備等改修工事の実施 (市営住宅長寿命化事業)	市営住宅を計画的に維持補修し長寿命化を図ります。
市営住宅家賃の徴収強化	市営住宅の家賃の徴収をさらに強化するとともに、場合により入居者の実情に合わせた納入を指導、滞納を減らします。

(3)－④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
P.17	市営住宅長寿命化事業	206,120	9,000	55,600	45,600	45,600	50,320

(3)－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

住生活基本計画策定事業

政策 2-2 快適な暮らしの環境をつくります

施策 2-2-2 快適な公園・緑地環境の整備⇒⇒「後期基本計画」p77



■■ 施策のねらい（めざす姿） ■■

市民と行政が一体となって自然の緑地を保全し、さらに緑の空間の創造に取り組んでいます。


■■ 施策の成果目標値 ■■

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
市民一人当たりの公園面積	m ² /人	2.82	3.3	3.5	3.8

■■ 後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担 ■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちにとって愛着のある公園となるよう公園等の管理に参加しています。 ・生垣、樹木の植栽、既存樹木の保全などの緑化に努めます。 
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ■開発事業者は、樹木の保全及び公園の設置に協力します。 ■事業地内の緑化に努めます。 

■■ 「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策 ■■

まちづくり主体	行政がとる方策
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・栗野の森地区公園（第2期）を整備していく中、市民参加による懇談会等を開催し、事前設計に要望・意見を反映します。 ・市民にとって愛着のある公園となるよう維持管理に参加してもらうため、公園サポーターの募集を広報に掲載します。 ・既存樹木、樹林等の適正な維持管理の啓発を行います。 ・年に一度、公園サポーターと公園の清掃活動について意見交換します。 ・市内全域におけるふれあいの森などをホームページでPRします。 
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・開発指導要綱に基づき事業地内の緑化、公園の設置に協力してもらうよう指導します。 ・開発行為等で緑化に関する、図面等の提出を図ります。

基本事業（１） 花とみどりのふれあい空間づくり

（１）－①基本事業のねらい（めざす姿）

各種公園の整備によるふれあい空間づくりが行われています。

（１）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
市民一人当たりの公園面積	m ² /人	2.82	3.3	3.5	3.8

（１）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
（仮称）総合運動公園整備事業	市制記念公園と陸上競技場を連絡する緑道の終端部の企業庁用地を取得して整備する。
地区公園整備事業	栗野地区に残された自然林を生かした地区公園としての整備を図る。
街区公園整備事業	国土交通省所管の吸収源対策公園緑地事業を活用し、保全林、ふれあいの森の土地所有者の協力をいただき用地を取得し公園として整備する。
公園施設長寿命化事業	遊具等の老朽化に対する安全対策の強化及び修繕・更新費用の平準化を図るために実施する。
★ 緑道整備事業	新鎌ヶ谷地区から県道千葉鎌ヶ谷松戸線区間において、安全な散策空間としての緑道を整備するため、千葉県企業庁から用地を購入する。

（１）－④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
P.19	（仮称）総合運動公園整備事業	40,281	12,678	3,955	23,648	0	0
P.19	地区公園整備事業	268,655	82,187	86,438	100,030	0	0
P.20	街区公園整備事業	312,917	97,639	97,639	97,639	10,000	10,000
P.20	公園施設長寿命化事業	100,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
P.21	緑道整備事業	236,832	0	128,684	35,657	36,446	36,045

（１）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

基本事業（２） パートナーシップによる緑づくりと保全

（２）－①基本事業のねらい（めざす姿）

地域住民とのパートナーシップによる公園や樹林地の維持管理が行われるとともに、市民参加による緑地保全がなされています。

（２）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
公園等サポーター数	人	33	29	33	34

（２）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
公園等サポーター制度の活用	公園及びふれあいの森等を、市内に居住する個人の方や団体等の協力で管理をする。
民有林を対象としたふれあいの森の確保	ふれあいの森として土地所有者と賃貸借契約を締結し、市民が利用できる公開された緑地を維持する。

（２）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（２）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

政策2-2 快適な暮らしの環境をつくります

施策2-2-3 うるおいある河川・水路の整備⇒⇒「後期基本計画」p79



■■施策のねらい（めざす姿）■■

市民が水辺に親しみをもっています。
河川・水路等の整備が進み、市民が安心して生活できています。


■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
浸水面積	ha	124.6	123.9	122.0	121.1
浸透樹設置個数	基	6,411	6,800	7,611	7,800

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> ・浸透樹を設置し、雨水を浸透させ流出を抑制します。 ・河川区域の環境美化活動を行います。 	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・事業地内において、浸透施設や貯留施設を設置し、雨水の流出を抑制します。 ・河川区域の環境美化活動を行います。 	

■■「市民」「事業者」が役割を担うためにとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・雨水浸透樹の啓発及び、浸透樹モニター制度による雨水浸透樹の設置を行います。 ・河川区域の環境美化の啓発を行います。 	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・雨水浸透樹の啓発及び、鎌ヶ谷市宅地開発指導要綱に基づく雨水流出抑制施設の設置の要望を行います。 ・河川区域の環境美化の啓発を行います。 	

基本事業（1） 安心して暮らせる治水対策

（1）-①基本事業のねらい（めざす姿）

河川、水路、貯留池の整備と適切な維持管理がされ、市民が水害に対し、安心して生活できています。

（1）-②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
貯留量	m ³	37,480	38,270	39,782	40,160

（1）-③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
準用河川整備事業	河川水路、地域排水の流末を確保するとともに、周辺流下能力を考慮し、準用河川施設の整備を推進する。
地域排水整備事業	市街地における内水排除を軽減するため、周辺地域の流下能力を考慮し、地域排水施設の整備を推進する。
雨水貯留池整備事業	市街地の開発、整備などに伴う保水能力の低下を防止するとともに、治水機能の向上を図る。
河川水路整備事業	地域排水の流末を確保するとともに、周辺地域の流下能力を考慮し、河川水路施設の整備を推進する。

(1) - ④多額の経費を要する事業等 (単位：千円)

別冊	事務事業名	総事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
P. 21	準用河川整備事業	1,608,312	77,470	160,530	563,228	512,683	294,401
P. 22	地域排水整備事業	255,276	52,557	120,036	31,881	25,401	25,401
P. 22	雨水貯留池整備事業	369,399	37,960	42,960	288,479	0	0
P. 23	河川水路整備事業	44,165	8,139	19,084	7,894	4,524	4,524

(1) - ⑤実施計画策定過程で検討した事業 (多額の経費を要する事業等)

河川管理台帳整備委託事業

基本事業 (2) うるおいある水辺環境づくり

(2) - ①基本事業のねらい (めざす姿)

緑と調和した魅力ある水辺環境が整備され、市民が水辺に親しみを持っています。

(2) - ②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
河川・水路に対する満足度 (市民意識調査)	%	13.8	13.0	14.8	15.0

(2) - ③「基本事業のねらい (めざす姿)」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
流域環境整備事業	市域内の河川・水路のそれぞれの構造、要因から個別的に維持工事を施し、機能維持を図る。

(2) - ④多額の経費を要する事業等 (単位：千円)

別冊	事務事業名	総事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
P. 22	流域環境整備事業	133,500	27,750	27,750	26,000	26,000	26,000

(2) - ⑤実施計画策定過程で検討した事業 (多額の経費を要する事業等)

※④で計上した事業以外なし

政策2-2 快適な暮らしの環境をつくります

施策2-2-4 上・下水道の整備⇒⇒「後期基本計画」p81



■■施策のねらい（めざす姿）■■

すべての市民が、良質で安定した水を利用しています。
下水道（汚水）が整備され、市民が衛生的な環境の中で生活しています。


■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	現状値	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
上水道普及率	%	76.4 (24年度)	上昇	上昇	上昇
下水道普及率（処理区域内人口/行政区域内人口）	%	57.4 (25年度)	60.0	63.7	68.0
下水道水洗化戸数	戸	25,111 (25年度)	25,500	27,500	29,300

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> 水資源の重要性を認識し、節水に努めます。 公共下水道整備区域に居住している場合には、公共下水道へ接続します。 	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> 水資源の重要性を認識し、節水に努めます。 排出基準を守り、公共下水道へ接続します。 	

■■「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> 水資源の重要性を認識し、節水に努めていただけるように啓発を行います。 9月10日の下水道の日を利用し、広報（9/1）へ掲載します。 下水道区域について、下水道柵等設置の規制誘導します。 	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> 水資源の重要性を認識し、節水に努めていただけるように啓発を行います。 下水道区域について、下水道管等設置の規制誘導します。 	

基本事業（1） 上水道の普及と水の有効利用

（1）-①基本事業のねらい（めざす姿）

市民が、良質で安定した水を利用しています。
また、水資源の有限性について理解し、節水行動をとるなど、水を有効利用しています。

（1）-②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (24年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
上水道普及率	%	76.4	上昇	上昇	上昇

（1）-③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
県営水道移管に関する事務	上水道について、鎌ヶ谷市は県営水道区域であるが、県が検討している一部市町村への移管の考え方について、市民が良質で安定した水を継続して利用できるような協議を行う。

（1）-④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（1）-⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（２） 公共下水道の充実

(2)－①基本事業のねらい（めざす姿）

公共下水道に接続できる区域が拡大し、接続利用しています。

(2)－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
下水道普及率	%	57.4	60.0	63.7	68.0

(2)－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
印旛流域関連公共下水道事業	市内の鎌ヶ谷大仏駅を中心とした東部地区の下水道を担い、汚水の処理は、千葉市の花見川処理場で行う地区である。整備は、概ね完了している為、未接続世帯に対し、水洗化の普及啓発を行う。
手賀沼流域関連公共下水道事業	市内の北部、西部、中心部の下水道を担い、我孫子市の手賀沼処理場で汚水を処理する地区である。市街地の約7割が整備を完了し、残りの南初富、道野辺中央の整備を進める。
江戸川左岸流域関連公共下水道事業	市内の南部の下水道を担い、市川市の江戸川第2終末処理場で汚水を処理する地区である。平成25年度より事業に着手し、西道野辺、馬込沢の整備を進める。

(2)－④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
P.24	公共下水道事業	2,878,500	625,100	592,000	571,200	550,600	539,600

(2)－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

基本事業（３） 社会の状況に即した計画の策定・見直し

(3)－①基本事業のねらい（めざす姿）

公共下水道は、長期事業であり、将来を見通した適正な計画になっています。

(3)－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
全区域汚水適性処理化構想見直し数	件	1	—	—	1
全体計画見直し等の実施数	件	1	1	1	1

(3)－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
汚水適正処理構想の見直し	汚水処理事業は、公共下水道以外にも多種多様な方法があり、5年毎にその時折の技術、人口の想定等を考慮し、経済性を中心に再検討する。
市全体計画の見直し	上位計画である「流総計画」や下水道事業の再評価、汚水構想等の結果を踏まえ、鎌ヶ谷市全体の下水道計画の見直しを5年毎に行う。

(3)－④多額の経費を要する事業等

※基本事業「公共下水道の充実」に掲げた「公共下水道事業」に含む
（下水道は、特別会計事業であり、すべての事業を「公共下水道事業」に含む）

(3)－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（４） 公共下水道施設の維持管理

（４）－①基本事業のねらい（めざす姿）

公共下水道施設がいつも良好な状態にあります。

（４）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
下水道管渠清掃延長	m	3,298	4,070	5,270	6,070

（４）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
公共下水道施設の補修工事	公共下水道施設の機能維持に努めるため、経年劣化した箇所を補修を行う。
公共下水道施設維持管理計画の策定	耐用年数に到達する施設について、機能を維持継続のための補修等の計画を策定する。
下水道管渠清掃委託	公共下水道施設の機能維持に努めるため、管内の堆積物の除去を行う他、劣化状況等を確認し、補修等の必要な箇所の調査を行う。

（４）－④多額の経費を要する事業等

※基本事業「公共下水道の充実」に掲げた「公共下水道整備事業」に含む
 （下水道は、特別会計事業であり、すべての事業を「公共下水道整備事業」に含む）

（４）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

政策 2-2 快適な暮らしの環境をつくります

施策 2-2-5 環境衛生の充実⇒⇒「後期基本計画」 p83



■■ 施策のねらい（めざす姿） ■■

市民が、清潔な生活環境で暮らしています。


■■ 施策の成果目標値 ■■

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
生活排水処理率	%	74.4	88.0	93.0	94.2

■■ 後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担 ■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> ・汲取便所または浄化槽を適正に維持管理します。 ・家庭から出る水の汚れを減らします。 ・愛玩動物を適正に飼育します。 ・畜犬を飼育する際は登録を行い、年に1回狂犬病予防接種を行います。 	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・汲取便所または浄化槽を適正に維持管理します。 ・事業所から出る水の汚れを減らします。 	

■■ 「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策 ■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・し尿を適正に収集します。また、処理施設に搬入されたし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理します。 ・合併浄化槽の普及促進のため、補助制度についてPR活動を行います。 ・愛玩動物を適正に飼育するための「しつけ方教室」の開催など啓発活動を行います。 ・畜犬登録や狂犬病予防接種が受けられやすいよう動物病院との連携や集合注射などの充実を行います。 	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・合併浄化槽の補助事業について正しく理解してもらうよう指導を行い、普及促進を図ります。 ・ペット業者などと連携を図り、ペット購入者に対する畜犬登録制度の普及や適正飼育の普及を図ります。 	

基本事業（1） 合併処理浄化槽の設置促進

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

合併処理浄化槽の設置が促進されるとともに、維持管理が適正になされ、公共用水域の水質が保全されています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
し尿汲取利用者数	人	2,839	減少	減少	減少
単独処理浄化槽利用者数	人	25,284	減少	減少	減少

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
単独処理浄化槽の転換促進	単独処理浄化槽を使用している人に合併処理浄化槽への転換を働きかける。
汲取便所の転換促進	汲取便所を使用している人に合併処理浄化槽への転換を働きかける。

(1) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（２） し尿、浄化槽汚泥の適正処理

（２）－①基本事業のねらい（めざす姿）

し尿・浄化槽汚泥が適正処理されています。

（２）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
し尿、浄化槽汚泥処理率	%	100	100	100	100

（２）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
し尿処理場の維持管理	柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合アクアセンターあじさいの機能を維持し、し尿及び浄化槽汚泥を適正に処理する。

（２）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（２）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

アクアセンターあじさい脱水汚泥焼却方法変更事業

基本事業（３） 愛玩動物の適正な飼育

（３）－①基本事業のねらい（めざす姿）

畜犬登録や狂犬病予防注射が適正に行われるなど、愛玩動物の飼い犬が生活環境に害を及ぼさない飼育をしています。

（３）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
狂犬病予防注射接種率	%	73.7	100	100	100

（３）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
畜犬登録及び狂犬病予防注射の充実	狂犬病予防法による登録及び年1回の狂犬病予防注射の接種義務により、登録数と注射実施率の向上のため、市内数ヶ所で集合注射を行う。
愛玩動物の適正飼育	犬のしつけ方教室等の開催など適正飼育の啓発を行う。

（３）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（３）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（４） 斎場等の充実

（４）－①基本事業のねらい（めざす姿）

斎場等の整備が進められています。

（４）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (24年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
四市（鎌ヶ谷市、船橋市、八千代市、習志野市）複合事務組合斎場利用率	%	93.2	増加	増加	増加

（４）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
第2 斎場建設事業	第2 斎場の建設を促進します。

（４）－④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
P. 24	第2 斎場建設事業	51,100	10,220	10,220	10,220	10,220	10,220

第2 斎場建設は、他の場所に建設することを検討しているため、人件費等義務的費用についてのみ計上し、今後、事業費や負担額がわかり次第、追加計上する。

（４）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

政策2-3 安全に暮らせる社会システムをつくります【重点政策】

施策2-3-1 交通安全の推進⇒⇒「後期基本計画」p85



■■施策のねらい（めざす姿）■■

子どもや高齢者、障がい者を含めたすべての人が安心して快適に通行できる交通環境になっています。

■■施策の成果目標値■■


指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
交通事故発生件数	件	487	407	363	349
人口千人当たりの交通事故死傷者数	人	5.3	4.4	4.0	3.8

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> 交通ルール・マナーを守ります。 交通安全運動、交通安全教室に参加します。 
事業者	<ul style="list-style-type: none"> 従業員に対して、交通安全教育を行います。 交通安全運動、啓発活動に参加します。 

■■「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策
市民	警察等の関係機関との連携強化に向け、交通安全運動街頭キャンペーンを実施する。
事業者	交通安全施設の整備及び交通安全教室の中で、啓発活動を定期的実施する。



基本事業（1）交通安全意識の高揚

(1) - ①基本事業のねらい（めざす姿）

誰もがルール・マナーを守り交通事故のない地域社会が形成されています。

(1) - ②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
交通安全運動及び交通安全教室参加者数	人	4,659	5,000	5,400	5,500

(1) - ③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
交通安全教室の開催	交通安全教室の開催
放置自転車の防止	駅周辺における啓発

(1) - ④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1) - ⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（２） 道路交通環境の充実

（２）－①基本事業のねらい（めざす姿）

道路や交通安全施設などが整備・改良され、すべての人が安心して通行できています。

（２）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
道路反射鏡整備・保全 個数	基	50	40	72	80
道路区画線整備・保全 距離	km	15	12	22	25
道路標識・交通看板整 備・保全個数	基	59	50	90	100

（２）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
歩道等整備事業	生活道路や駅周辺など歩行者の危険が問題となっている道路の安全対策を行う。
交通安全施設更新事業	道路照明灯など経年劣化により老朽化を迎えている各種安全施設の付け替えを行う。
新鎌ヶ谷駅自転車等駐 車場用地購入事業	千葉県企業庁から、自転車等駐車場用地を購入する。

（２）－④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
P. 25	歩道等整備事業	75,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
P. 25	交通安全施設更新事業	25,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
P. 26	新鎌ヶ谷駅自転車等駐 車場用地購入事業	68,881	0	37,458	10,360	10,590	10,473

（２）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

基本事業（３） 交通安全に関する調査・研究の推進

（３）－①基本事業のねらい（めざす姿）

事故多発地点や道路診断の実施により、交通安全に関する情報が提供されています。

（３）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
交通安全対策満足度	%	12.3	16	17	18

（３）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
交通事故多発箇所共同 現地診断の実施	関係機関が共同で、交通事故が多く発生する箇所の原因を究明し、実施可能な対策を実施する。

（３）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（３）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（４） 交通事故被害者への支援

（４）－①基本事業のねらい（めざす姿）

交通事故の被害者や家族の経済的・精神的不安が軽減されています。

（４）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
千葉県交通災害共済加入率	%	4.2	4.7	4.7	4.7

（４）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
千葉県市町村交通災害共済の加入率の促進	共済制度に加入した会員が、会費を出し合い交通事故による被害者に見舞金を支払う。

（４）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（４）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

政策 2-3 安全に暮らせる社会システムをつくります【重点政策】

施策 2-3-2 防犯対策の促進⇒⇒「後期基本計画」p87



■■施策のねらい（めざす姿）■■

市民が、犯罪のない明るい地域社会で安心して暮らしています。


■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
刑法犯認知件数	件	1,399	1,400	1,300	1,300
防犯パトロール隊団体数	団体	48	38	40	40

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> 市民一人ひとりが防犯対策を講じます。 防犯に関する講習会などへの参加や家庭教育を通じて、防犯意識を高めます。 地域で行う防犯パトロールなど、防犯活動の強化に積極的に取り組みます。 
事業者	<ul style="list-style-type: none"> 事業者において防犯対策を講じます。 地域が行う防犯活動に、積極的に参加します。 防犯に関する講習会などを通じて、従業員の防犯意識を高めます。 

■■「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策
市民	 <p>自主防犯パトロール隊の活動の充実を図るため、鎌ヶ谷市防犯協会を通じて、パトロールに必要な腕章や防犯ベストなどの資器材を隊員全員に支給します。 また、自主防犯パトロール隊のパトロールが難しい深夜帯については、青色パトロール車により市がパトロールを行います。</p>
事業者	<p>事務所の防犯設備や従業員の防犯意識の向上を図るため、警察署及び鎌ヶ谷市防犯協会と連携し、防犯講話や犯罪発生状況のチラシの作成など広報活動を定期的に行います。</p>

基本事業（1） 防犯施設・設備の充実

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

防犯上配慮した施設整備や交番の誘致、防犯灯等の整備により、犯罪の起こりにくい環境になっています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
防犯灯設置灯数	基	7,844	7,750	8,000	8,000

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
防犯灯の整備促進	自治会等が新設・維持管理している防犯灯の費用や器具をLED灯に交換する費用の一部を補助する。

(1) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（２） 防犯活動の推進

(2) - ①基本事業のねらい（めざす姿）

警察、防犯協会等と連携しながら、市民が日常的に防犯活動に参加しています。

(2) - ②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
防犯パトロール隊参加者数	人	1,767	1,850	1,850	1,850

(2) - ③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
児童生徒安全パトロール事業	児童生徒の下校時刻頃から夕方までの時間帯に通学路を中心として、パトロールを実施する。
夜間防犯パトロールの実施	犯罪を防止するため、夜間におけるパトロールを実施する。

(2) - ④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
P.26	児童生徒安全パトロール事業	89,245	17,849	17,849	17,849	17,849	17,849
P.27	夜間防犯パトロール事業	55,770	11,154	11,154	11,154	11,154	11,154

(2) - ⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

基本事業（３） 防犯知識の普及

(3) - ①基本事業のねらい（めざす姿）

市民一人ひとりが防犯に関する知識を持っています。

(3) - ②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
防犯サテライト事業参加者数	人	200	350	350	360

(3) - ③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
防犯サテライト事業の促進	警察、防犯協会と協働で、6つのコミュニティエリアで防犯キャンペーンや防犯現地診断などの事業を実施する。

(3) - ④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(3) - ⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（４） 防犯体制の整備

(4) - ①基本事業のねらい（めざす姿）

市民の自主的な防犯活動が展開され、防犯体制が整備されています。

(4) - ②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
防犯パトロール隊団体数	団体	48	38	40	40

(4) - ③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
防犯パトロール隊の育成	防犯協会と連携し、防犯パトロール隊の育成を促進する。

(4) - ④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(4) - ⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

政策 2-3 安全に暮らせる社会システムをつくります【重点政策】

施策 2-3-3 防災対策の強化⇒⇒「後期基本計画」p89



■■ 施策のねらい（めざす姿） ■■

市民や企業、行政が一体となった防災活動が展開され、災害に強いまちになっています。


■■ 施策の成果目標値 ■■

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
自主防災組織組織率	%	58	68	69	70
防災訓練参加延べ人数	人	6,221	5,800	10,300	10,300

■■ 後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担 ■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織等の地域コミュニティの形成に努めるとともに、防災活動に積極的に参加します。 ・「自分たちが住む地域は、自分たちが守る」という考えを基本に、災害時には自分たちで活動します。 	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員や施設利用者の安全確保、経済活動の維持、地域住民への貢献等が図れるよう、防災活動を推進します。 	

■■ 「市民」「事業者」が役割を担うためにとる方策 ■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	防災意識の更なる高揚を図るため、自主防災組織が未結成の地域に対し、自治会などを通じて働きかけを行います。 また、現在結成されている92の自主防災組織の代表者に対し、年1回以上の防災訓練の実施をお願いします。	
事業者	現在36の事業所等と災害協定を締結しているが、災害協定の充実を図るため新たな事業所と災害協定を締結します。 また、事業所に対し、災害時の備えとして従業員用の水や食糧など、3日分の避難物資の備蓄をお願いします。	

基本事業（１） 地域防災体制の充実

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

地域における防災体制が充実しています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
自主防災訓練実施組織数	団体	63	68	68	69

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
避難者カードの配布	鎌ヶ谷市自主防災組織連絡協議会と協議をしながら、防災意識の啓発を兼ねた避難者カードを作成した後、各自主防災組織及び自治会を通じて地域住民に避難者カードを配布する。

(1) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（２） 防災意識の高揚

(2) -①基本事業のねらい（めざす姿）

市民の防災意識が高まっています。

(2) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
総合防災訓練参加者数	人	6,221	5,800	10,300	10,300

(2) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
総合防災訓練の実施	市民参加型の防災訓練を実施する。

(2) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(2) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（３） 応急活動・災害復旧体制の強化

（３）－①基本事業のねらい（めざす姿）

万一の災害発生時の応急活動、災害復旧活動が円滑に行えるような体制が整っています。

（３）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
防災備蓄倉庫設置箇所数	箇所	22	12	22	21

（３）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
避難所備蓄倉庫整備事業	地域防災計画に基づき、22箇所の避難所に災害に備えて避難者の避難生活及び応急対策職員に必要な物資を備蓄すると共に、物資の更新を行う。

（３）－④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
P. 27	避難所備蓄倉庫整備事業	72,339	72,339	0	0	0	0

（３）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

防災行政無線デジタル化事業、防災行政無線個別受信機整備事業

基本事業（４） 災害に強い都市構造づくり

（４）－①基本事業のねらい（めざす姿）

災害による被害を最小限にとどめるような都市の構造になっています。

（４）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
公共施設耐震化率	%	95	90	100	100

（４）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
市庁舎免震改修事業	利用者の安全確保や災害対策本部としての機能を維持することを目的として、市庁舎の耐震化を図る。
公共施設の耐震化	利用者の安全確保を目的として、各公共施設の耐震化を図る。

（４）－④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
P. 28	市庁舎免震改修事業	2,510,000	1,235,000	1,275,000	0	0	0

（４）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

政策 2-3 安全に暮らせる社会システムをつくります【重点政策】

施策 2-3-4 消防力の強化⇒⇒「後期基本計画」p91



■■ 施策のねらい（めざす姿） ■■

市民の生命、財産等の被害を最小限に抑える体制を整えています。

■■ 施策の成果目標値 ■■


指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
普通救命講習受講者数	人	5,537	7,000	9,300	10,000
住宅用火災警報器普及率	%	62.2	49.5	64.6	65.0
人口1万人当たりの出火率	件	2.2	3.6	3.6	3.6

■■ 後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担 ■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> ・普通救命講習を受講します。 ・住宅用火災警報器を設置します。 
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・AEDを積極的に設置します。 ・事業所単位で普通救命講習を受講します。 ・消防用設備等を法令に基づき、適正に維持管理します。 

■■ 「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策 ■■

まちづくり主体	行政がとる方策
市民	救命講習を毎月第3土曜日に実施し、ホームページや広報かまがやにて受講者を広く集めます。 住宅用火災警報器の更なる設置促進及び維持管理の必要性について、啓発や訪問調査を実施します。
事業者	「AED設置協力事業所」並びに「救急救命推進事業所」について、設置事業者がAEDを設置し安心安全のまちづくりに貢献していることを市民に啓発していきます。 事業者の防火意識の向上のため、防火対象物の定期的立入検査を実施します。



基本事業（１） 消防体制の充実

（１）－①基本事業のねらい（めざす姿）

火事や災害時に、より早く消防活動が行われ、被害が最小限に抑えられる体制が整っています。

（１）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
消防車両更新台数	台	5	7	11	18

（１）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
消防本部庁舎建替事業	現行庁舎の機能を維持しながら、建替を行う。
くぬぎ山消防署建替事業	現行庁舎の機能を維持しながら、建替を行う。
消防車両更新事業	災害活動に必要不可欠な消防車両を計画的に更新し、災害対応に万全を期す。
中央消防署改修事業	施設の長寿命化のため外壁改修を行う。
消防団装備品整備事業	消防団で使用する装備品を計画的に更新・整備し、地域防災体制の充実強化を図る。
防火水槽用地購入事業	災害時に有効な消防水利を確保し、万全を期す。

（１）－④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
P. 28	消防本部庁舎建替事業	3,941	3,941	0	0	0	0
P. 29	くぬぎ山消防署建替事	89,595	89,595	0	0	0	0
P. 29	消防車両更新事業	152,304	6,677	59,132	38,523	38,523	9,449
P. 30	中央消防署改修事業	11,287	0	11,287	0	0	0
P. 30	消防団装備品整備事業	11,800	3,000	2,800	2,000	2,000	2,000
P. 31	防火水槽用地購入事業	1,163	0	1,163	0	0	0

（１）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

消防団車両更新事業

基本事業（２） 火災予防の推進

(2) - ①基本事業のねらい（めざす姿）

市民や事業者の防火意識が高まり、火事が発生しにくいまちになっています。

(2) - ②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
住宅用火災警報器普及率	%	62.2	49.5	64.6	65.0
立入検査実施数	件	543	577	581	583

(2) - ③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
住宅用火災警報器のリーフレット作成	住宅用火災警報器の設置促進及び維持管理に係るリーフレットを作成する。
住宅用火災警報器について、広報かまがや、市ホームページへの掲載	住宅用火災警報器の設置促進及び維持管理並びに奏功事例を掲載する。
市内の大型店舗等での火災予防PR	市内の大型店舗等で火災予防PR（店内放送）、住宅用火災警報器の設置アンケートを行う。
消防広場の開催	全国火災予防運動期間に併せ、駅前広場などで、火災予防PRを行う。
事業所の立入検査を実施	消防法に基づき、火災予防のための立入検査を行う。

(2) - ④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(2) - ⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（３） 安心できる救急・救助体制づくり

(3) - ①基本事業のねらい（めざす姿）

救命の向上を図るため、高規格救急自動車及び救助資機材の更新や救急救命士の養成が図られるとともに、市民自らが救急救命処置の知識・技術を身につけています。

(3) - ②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
普通救命講習受講者数	人	5,537	7,000	9,300	10,000

(3) - ③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
救命講習会の開催	市民、事業所が救命に必要な知識、技術を習得できるように救命講習会を開催する。
消防車両更新事業（救急・救助車両）	救命の向上を図るため、計画的に救急車及び救急資機材の更新を図る。
救命講習会参加の呼びかけ（広報かまがや）	救命講習会の開催を広報かまがやに掲載し、受講者を募る。
救急救命推進証交付事業所の拡充並びに更新	新規救急救命推進証交付事業所の拡充並びに既事業所に対し救命講習の再受講を促す。
千葉県救助大会へ参加	救助技術向上並びに救助隊員間の連携強化のため、千葉県救助大会へ参加する。

(3) - ④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
P. 31	消防車両更新事業（救急・救助車両）	109,045	71,372	0	37,673	0	0

(3) - ⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

基本目標 3

「躍動感と魅力あふれる交流拠点都市」
をめざして

基本目標3 「躍動感と魅力あふれる 交流拠点都市」をめざして
 政策3-1 魅力あふれるまちづくりを進めます【重点政策】
 施策3-1-1 広域交流拠点の整備⇒⇒「後期基本計画」p93



■■施策のねらい（めざす姿）■■

新鎌ヶ谷駅周辺地区は、交通結節点として、千葉県北西部地域を代表する躍動感と魅力ある交流拠点となっています。


■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	現状値	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
新鎌ヶ谷駅乗降客数 (1日あたり)	人	93,088 (24年度)	92,000	98,400	100,000
新鎌ヶ谷地区事業所数	件	236 (25年度)	230	262	270

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> 交流拠点にふさわしい土地活用を目指します。 コミュニティに参加します。 ソフト面でのまちづくりへ参加します。 	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ソフト面でのまちづくりへ参加します。 交流拠点にふさわしい景観形成への協力を行います。 魅力のある事業展開を行います。 	

■■「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	地域住民間等の連携を図るための組織作りの支援を行います。	
事業者	魅力ある地域づくりのために、優れた景観への規制誘導を行います。	

基本事業（1） 広域交流拠点の基盤づくり

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

商業・業務・文化・娯楽等の集積が可能で、快適性・安全性・利便性に配慮した都市基盤が整備されています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
新鎌ヶ谷駅周辺地区市街地整備促進事業の進捗率	%	17.0	18.0	94.0	99.0

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
新鎌ヶ谷駅周辺地区市街地整備促進事業	関連事業の工程に合わせ、地区内の通路整備等を実施する。

(1) -④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
P. 32	新鎌ヶ谷駅周辺地区市街地整備促進事業	156,432	23,600	84,607	20,592	13,893	13,740

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

基本事業（２） 広域交流拠点機能の集積誘導

（２）－①基本事業のねらい（めざす姿）

賑わいとふれあいのある魅力的な商業・業務施設が集積しています。

（２）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
新鎌ヶ谷地区事業所数	件	236	230	262	270

（２）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
イベントの実施	自立した地域の活性化・賑わいづくりのための活動のきっかけ作り。
景観誘導	魅力ある地域づくりのために、優れた景観への規制誘導を行う。
まちづくり組織支援	まちづくり方策に基づく具体的施策を実施する組織の組織化支援を行う。

（２）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（２）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

政策3-1 魅力あふれるまちづくりを進めます【重点政策】

施策3-1-2 鉄道新線開業等に対応した新市街地の整備⇒⇒「後期基本計画」p95

■■施策のねらい（めざす姿）■■

東京10号線延伸新線の整備を確かなものとするため、中沢地区などの市街地の整備の検討が進められています。

※「東京10号線延伸新線促進検討委員会」は、事業の採算性の見通しが立たないこと等から実現の可能性がないと判断し「東京10号線延伸新線計画」の検討を終了し、同委員会を解散しました。今後、市では千葉県が取得済の用地の利用方法について関係機関と調整を行う予定です。

■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	現状値	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
新市街地整備事業着手地区数	地区	—	0	—	1

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	・市街地整備に向けた話し合いを行います。
事業者	・市街地整備等のまちづくりに協力します。

■■「市民」「事業者」が役割を担うためにとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策
市民	—
事業者	—

基本事業（1） 東京10号線延伸新線の事業化

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

本八幡から新鎌ヶ谷を区間とする「東京10号線延伸新線」が事業化されています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
東京10号線延伸新線の事業化の可否		—	—	—	—

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

(1) -④多額の経費を要する事業等

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（2） 新たな市街地の形成

(2) -①基本事業のねらい（めざす姿）

「東京10号線延伸新線」の新駅が予定されている中沢地区で、新たな市街地の形成に向けて動きが始まっています。

(2) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
新市街地整備事業着手地区数	地区	—	—	—	—

(2) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

(2) -④多額の経費を要する事業等

(2) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

政策3-1 魅力あふれるまちづくりを進めます【重点政策】

施策3-1-3 質の高い既成市街地の整備⇒⇒「後期基本計画」p97



■■施策のねらい（めざす姿）■■

賑わいと魅力あふれる中心市街地が形成されています。
自然と調和した質の高い居住環境が整備されています。


■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
鎌ヶ谷市を住み良いと答えた市民割合（市民意識調査）	%	52.2	50.0	55.0	55.0
既成市街地整備事業着手地区数	地区	2 (西口・初富)	1 (初富)	2 (初富・北初富)	2 (初富・北初富)

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> 協働のまちづくりに積極的に参加します。 まちづくりの方針への理解と協力をします。 	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> まちづくりの方針への理解と協力をします。 規制誘導への理解と協力をします。 	

■■「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	連携を図るために定期的に検討会を行います。	
事業者	魅力ある地域づくりのために規制誘導をします。	

基本事業（1） 都市軸の整備

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

都市基盤が整備され、拠点にふさわしい賑わいが生まれています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
都市軸形成促進事業整備箇所数（着手）	箇所	2 (西口・初富)	1 (初富)	1 (初富)	1 (初富)

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
都市軸形成促進事業（初富駅周辺整備）	連立事業に併せ、駅前広場を整備し、駅利用者の利便性・安全性を確保する。
鎌ヶ谷駅西口周辺整備	くらしのみちゾーン事業として、歩行者等の安全性を確保し、地区の活性化を図る。

(1) -④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
P. 32	都市軸形成促進事業	119,000	19,000	44,000	56,000	0	0

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

基本事業（２） 近隣商業拠点の整備

（２）－①基本事業のねらい（めざす姿）

身近な近隣商業業務が集積し、利便性が確保されています。

（２）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
近隣商業拠点整備事業 整備箇所数	箇所	0	0	1 (北初富)	1 (北初富)

（２）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
近隣商業拠点整備事業 (北初富駅周辺整備)	連立事業に併せ、駅前広場を整備し、駅利用者の利便性・安全性を確保する。

（２）－④多額の経費を要する事業等

別冊	事務事業名	総事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
P. 33	近隣商業拠点整備事業	117,703	1,000	81,152	26,736	4,432	4,383

（２）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（３） 住みよい周辺市街地の整備

（３）－①基本事業のねらい（めざす姿）

インフラ（都市基盤）が整備され、良好な居住環境が確保されています。

（３）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
鎌ヶ谷市を住み良いと 答えた市民割合（市民 意識調査）	%	52.2	50.0	55.0	55.0

（３）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
景観の規制誘導	優れた景観への誘導策をまとめ、誘導を行う。
市街地整備事業	土地区画整理事業をはじめとする市街地整備事業の導入を検討し、実施・誘導を図る。
開発指導事務	都市計画法に基づく許認可行為、良好な住環境のための指導を行う。

（３）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（３）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

政策3-1 魅力あふれるまちづくりを進めます【重点政策】

施策3-1-4 鎌ヶ谷市の魅力あふれるまち並みづくり⇒⇒「後期基本計画」p99



■■施策のねらい（めざす姿）■■

地域で話し合いがされ、愛着の持てる魅力あるまちの実現を目指しています。
魅力あるまち並みや恵まれた自然を活かした景観づくりが進められています。


■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
市の景観への満足度 (市民意識調査)	%	25.3	28.0	32.0	33.0

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> ・景観形成に関する施策に協力します。 ・生垣、樹木の植樹、既存樹木の保全などの緑化に努めます。 ・良好なまち並みをつくるために自宅建物・工作物の意匠・形態等に配慮します。 	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外広告物などの景観への配慮をします。 ・建築物・工作物の新築については、景観に配慮した意匠・形態とします。 ・事業地内の緑化に努めます。 	

■■「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・景観形成に関して目指すべき基本的な考え方を示します。 ・景観計画の取り組みを解りやすくパンフレット等で市民へ周知・啓発をします。 ・都市計画に関する情報の提供を都市計画図や市ホームページ等で周知します。 	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・景観形成に関して目指すべき基本的な考え方を示します。 ・景観計画の取り組みを解りやすくパンフレット等で事業者へ周知・啓発をします。 ・都市計画に関する情報の提供を都市計画図や市ホームページ等で周知します。 	

基本事業（1） 魅力あふれるまち並みづくりのための仕組み・制度づくり

(1) ー①基本事業のねらい（めざす姿）

鎌ヶ谷市の魅力づくり・景観形成を進めるための仕組み・推進組織体制が整備されています。

(1) ー②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (26年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
景観づくり地域活動団体認定数	団体	0	増加	増加	増加

(1) ー③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
景観まちづくり活動団体の認定	良好な景観の形成の推進を目的とする団体を認定し、良好な景観形成を推進する。
良好な景観の形成に寄与した団体、個人の表彰	良好な景観の形成に寄与した団体、個人の表彰により景観形成への気運を高める。

(1) ー④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1) ー⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（２） 魅力あふれるまち並みづくりのための計画づくり

（２）－①基本事業のねらい（めざす姿）

鎌ヶ谷市の魅力づくりのための景観計画が策定されています。

平成25年度に「景観計画」を策定、平成26年度に「景観条例」を制定（予定）しました。

（２）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (26年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
景観計画、景観条例の策定		1	1	1	1

（２）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

※景観計画を策定、景観条例を制定（予定）したため、該当事業なし

（２）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（２）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（３） 魅力あふれるまち並みづくりの実践

（３）－①基本事業のねらい（めざす姿）

各分野で、鎌ヶ谷市の魅力を高める取り組みがなされています。

（３）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
景観条例の適用数	件	0	増加	増加	増加

（３）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
景観まちづくりの推進	景観まちづくりを推進するための市民活動の推進方策の確立
景観計画の周知・啓発・誘導	ホームページ、ガイドラインを利用し市民・事業者へ取り組みの周知を図る。

（３）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（３）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

政策3-2 都市活動を支える交通網整備を進めます

施策3-2-1 安全でゆとりある道路の整備⇒⇒「後期基本計画」p101



■■施策のねらい(めざす姿)■■

道路利用者が、安全でゆとりある道路を円滑に利用することができます。


■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
「道路の状況」不満足度(市民意識調査)	%	66.4	58.0	51.6	50.0
都市計画道路整備率	%	33.0	38.0	42.0	43.0

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> ・交通法規を遵守します。 ・道路愛護活動(清掃、道路美化、道路愛称名等)に参加します。 
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・交通法規を遵守します。 ・道路美化運動に参加します。 

■■「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の整備を推進し、適正な維持管理を行います。 ・道路の利便性を高めるために、道路案内標識を設置します。 ・交通法規を遵守していただくために、交通安全教室等のPR活動を展開します。 ・道路愛護活動に参加していただけるように、PR活動を展開し、道路愛護団体に対し報奨金を交付します。 
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の整備を推進し、適正な維持管理を行います。 ・道路の利便性を高めるために、道路案内標識を設置します。 ・交通法規を遵守していただくために、交通安全教室等のPR活動を展開します。 ・道路愛護活動に参加していただけるように、PR活動を展開し、道路愛護団体に対し報奨金を交付します。

基本事業（１） 道路網の整備・促進

（１）－①基本事業のねらい（めざす姿）

幹線道路を整備することにより、道路利用者の安全性・利便性が向上し、交通渋滞が緩和されています。

（１）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
主要市道整備延長	m	3,289	425	2,253	2,710
都市計画道路整備延長	m	12,169	11,769	13,489	14,469

（１）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
主要市道整備事業	主要市道の道路改良と歩道の整備を行うとともに、傷んだ舗装の打ち換え等を行う。
交差点改良事業	交差点の形状をより安全に改良する。
新鎌ヶ谷駅西側地区都市計画道路整備事業	新鎌ヶ谷地区とその西側の連携を円滑にするための整備を行う。
都市計画道路3・4・10号中沢北初富線整備事業（中沢）	都市計画道路3・4・10号線（中沢1期分）
都市計画道路3・4・5号船橋我孫子バイパス線整備事業	3期目の栗野地区整備を行うため、事業主体である千葉県に負担金を支払う。
栗野バイパス線整備事業	栗野バイパス線整備事業（1期分）

（１）－④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
P.34	主要市道整備事業	1,031,391	202,900	202,811	208,560	208,560	208,560
P.34	交差点改良事業	53,000	0	5,000	44,000	4,000	0
P.35	新鎌ヶ谷駅西側地区都市計画道路整備事業	500,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
P.35	都市計画道路3・4・10号中沢北初富線整備事業（中沢）	77,500	62,500	15,000	0	0	0
P.36	都市計画道路3・4・5号船橋我孫子バイパス線整備事業	15,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000

（１）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

④で計上した事業以外なし

基本事業（２） 生活道路の整備

（２）－①基本事業のねらい（めざす姿）

生活道路を整備することにより、地域住民の利便性と生活環境が向上しています。

（２）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
一般市道整備延長	m	1,070	1,260	2,820	3,210

（２）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
一般市道整備事業	一般市道の傷んだ舗装の打ち換え、道路改良、側溝の設置等を行う。
道路維持・補修事業	道路補修・清掃委託以外で各々の市道について、その構造、個別的要因から維持修繕工事を実施し、機能管理を図る
私道整備事業	未舗装の私道の舗装を行う。

（２）－④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
P.36	一般市道整備事業	175,000	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000
P.37	道路維持・補修事業	600,000	144,398	130,602	108,000	108,000	109,000
P.37	私道整備事業	5,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000

（２）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

④で計上した事業以外なし

基本事業（３） 安全で快適な道づくり

（３）－①基本事業のねらい（めざす姿）

市民が安全で安心して移動できるよう、バリアフリー型の歩道整備や、ゆとりのある道路では、自転車の通行や、植樹帯による緑の創設を含めた道路整備を進めています。

（３）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
歩道整備延長	m	41,702	41,881	42,292	47,281
街路樹整備延長	m	0	0	300	1,660

（３）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
主要市道整備事業	主要市道の道路改良と歩道の整備を行うとともに、傷んだ舗装の打ち換え等を行う。
新鎌ヶ谷駅西口都市計画道路整備事業	新鎌ヶ谷地区とその西側の連携を円滑にするために、整備を行う。
都市計画道路3・4・10号中沢北初富線整備事業（中沢）	都市計画道路3・4・10号線（中沢1期分）

（３）－④多額の経費を要する事業等

※基本事業「道路網の整備・促進」に記載の「主要市道整備事業」「都市計画道路整備事業」に含む

（３）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

④で計上した事業以外なし

政策 3-2 都市活動を支える交通網整備を進めます

施策 3-2-2 利便性の高い公共交通体系の充実⇒⇒「後期基本計画」 p103



■■ 施策のねらい（めざす姿） ■■

環境に配慮した公共交通を利用して、目的地まで円滑に移動できています。
連続立体交差事業等の進展により、交通渋滞が解消されています。


■■ 施策の成果目標値 ■■

指標名	単位	現状値 (24年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
鉄道駅乗降客数（1日あたり）	人	189,701	192,000	198,600	200,000
市内バス利用者数（1日あたり）	人	1,286	1,900	1,966	2,000

■■ 後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担 ■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> ・自家用車の利用を控えて公共交通利用を高めます。 ・高架下利用として必要な施設について共に考えます。 ・駅・バス停の周辺環境整備（美化等）に協力します。 	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスの向上、施設のバリアフリー化を推進します。 ・乗り継ぎ駅では、利用者が円滑に乗り継ぐことができるように、施設間の誘導案内等を行います。 	

■■ 「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策 ■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の利用が高まるよう、バス路線や時刻表等の検討を行います。 ・高架下利用として必要な施設について、共に考えていただくようPRをします。 ・駅・バス停周辺環境整備（美化等）に協力していただけるようPRをします。 	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通会議を開催し、利用者のサービス向上を話し合います。 	

基本事業（１） 公共交通網の充実

（１）－①基本事業のねらい（めざす姿）

鉄道、バス、タクシー、自転車など様々な交通機関が有機的に連携した誰もが利用しやすい総合的・効率的な交通体系が整備されています。

（１）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
新京成線連続立体交差事業進捗率	%	65 (25年度)	72	100	100
公共交通利用者数	人	190,987 (24年度)	193,900	200,566	202,000

（１）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
新京成線連続立体交差事業	新京成線を高架化して踏切を除却することで、市内の交通渋滞の緩和を図る。
コミュニティバス運行助成事業	高齢者等を中心とした移動手段の確保をする。
北総鉄道耐震化助成事業	北総鉄道の耐震化を促進し、利用者の安全を図る。

（１）－④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
P.38	新京成線連続立体交差事業	1,171,245	510,000	510,000	151,245	0	0
P.38	コミュニティバス運行助成事業	195,423	21,023	43,600	43,600	43,600	43,600
P.39	北総鉄道耐震化助成事業	65,600	25,000	5,200	35,400	0	0

（１）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

基本事業（２） 交通環境の充実

（２）－①基本事業のねらい（めざす姿）

駅利用者の利便性、安全の確保や鉄道とバス・タクシー等との円滑な連絡が図られています。

（２）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (26年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
駅前広場整備数	箇所	3	5	5	5
市内駅エレベータ・エスカレータ設置率	%	83	83	100	100

（２）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
高架下利用の推進	連続立体交差事業で高架化された高架下を利活用する方策を関係者と共に探る。

（２）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（２）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

政策 3-3 活力ある産業を育成します

施策 3-3-1 都市農業の育成⇒⇒「後期基本計画」 p105



■■ 施策のねらい（めざす姿） ■■

農業と市民とのふれあいが強化し、農業が持続的に発展する中で農業生産が行われ、新鮮・安全・安心な食料が提供されています。また、農地の有する多面的機能からも本市の魅力づくりに貢献しています。


■■ 施策の成果目標値 ■■

指標名	単位	現状値 (22年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
販売農家数	戸	334	330	330	330
経営耕地面積	a	39,000	37,500	37,500	37,500

■■ 後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担 ■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> ・食料・農業の大切さを認識し、その理解に努めます。 ・地元の農産物や農産物加工品の消費を心がけ、地産地消を応援します。 	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・新鮮・安全・安心な農産物を提供します。 ・農産物や農産物加工品の販売力強化に取り組みます。 ・農産物や農産物加工品のブランド化や産地化を進め、生産力の向上を図ります。 ・地元の農産物を活用した料理をPR するなど、地産地消をめざします。 	

■■ 「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策 ■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	農業理解の契機として、市民農園貸付や援農ボランティアの育成を行います。また、地元の農産物や農産物加工品の消費を呼びかけ、地産地消を推進します。	
事業者	新鮮・安全・安心な農産物を提供できるように、ブランド化や産地化を進めます。	

基本事業（1） 担い手の育成・販路の拡大

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

農業を安定して経営できる担い手が増えているとともに、流通・販売経路の拡大が図られています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
認定農業者数	人	46	45	49	50
新規就農者数	人	0	1	1	1
特定農業団体数	団体	0	1	1	1

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
認定農業者の認定推進	農業経営の発展をめざし、農業経営改善計画の策定を推進する。

(1) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（２） 農地の保全

（２）－①基本事業のねらい（めざす姿）

効率的な農業ができる生産基盤が整っているとともに、それらの適切な保全管理がなされています。同時に、農地の保全に関する国の政策動向を視野に入れながら、耕作放棄地の解消など、市独自の支援策が進められています。

（２）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
耕作放棄地面積	ha	4.6	1.5	1.4	1.4
なし剪定枝リサイクル率	%	16.6	15.0	18.0	18.0

（２）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
果樹剪定枝等堆肥化事業	煙害などで焼却処理が困難になっている剪定枝の堆肥化を推進します。
手賀排水機場修繕事業	県営手賀沼土地改良施設（手賀排水機場）の施設延命化

（２）－④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
P.40	果樹剪定枝等堆肥化事業	38,401	6,020	6,020	8,787	8,787	8,787
P.40	手賀排水機場修繕事業	2,632	2,632	0	0	0	0

（２）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

基本事業（３） 時代のニーズにあった農業生産

（３）－①基本事業のねらい（めざす姿）

消費者のニーズに対応した特色ある農業生産が行われ、産地化が進むとともに、環境に配慮した安全・安心の農産物づくりが行われています。

（３）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
ブランド化認定数	団体	7	7	8	8

（３）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
農産物ブランド化の推進	新鮮・安全・安心な農産物を提供できるように、鎌ヶ谷産農産物の高付加価値化の推進を図る。

（３）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（３）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（４） 食と農の関係づくり

（４）－①基本事業のねらい（めざす姿）

市民農園や体験農園、農業まつりなどを通して、生産者と消費者の相互理解が進み、援農や地産地消などの仕組みづくりが定着し、心の通い合う食と農の関係が築かれています。

（４）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
市民農園利用者数	人	148	171	171	171
援農ボランティア数	人	34	45	65	70

（４）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
市民農園の利用促進	農業理解の契機として、市民農園の貸付を行います。

（４）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（４）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

政策 3-3 活力ある産業を育成します

施策 3-3-2 魅力ある商業の育成⇒⇒「後期基本計画」p107



■■ 施策のねらい（めざす姿） ■■

消費者ニーズを的確にとらえ、より豊かな生活を提供する商業・サービス業が多数集積し、特に個性ある魅力的な個店には市外からも多くの消費者が訪れています。
また、高齢者へのきめ細かな対応など、商店街が地域とのつながりをより深めています。


■■ 施策の成果目標値 ■■

指標名	単位	現状値 (24年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
年間商品販売額	千万円	7,783	8,700	8,700	8,700
小売業における売り場面積	m ²	83,591	90,400	90,400	90,400

■■ 後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担 ■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> 身近にあるよいお店を再発見し、買い物をして、多くの人にそのお店のよさを伝えます。 身近な商店を利用するとともに、商店街による各種イベントに参加します。 	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> 消費者の嗜好を敏感に察知して、魅力ある個店づくりに取り組むとともに、宅配サービスなど高齢者に配慮した事業にも取り組みます。 商店街を活用した交流イベントを行い、市民の参加を促進します。 環境を整備し、安心して買い物ができる商店街をつくります。 	

■■ 「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策 ■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> 市ホームページ上に掲載している鎌ヶ谷情報ナビ等を通し、市民の方に身近なお店情報を提供します。 商店街による各種イベントの周知・広報を行うほか、商工業振興補助金等による助成を通して、商店街による各種イベント開催を支援します。 	
事業者	商店街による各種イベントの周知・広報を行うほか、商工業振興補助金等による助成を通して、商店街による各種イベントの開催や高齢者のニーズに配慮した事業を支援するほか、商店街の街路灯等の施設・環境整備等を行います。	

基本事業（1） 個性と魅力ある個店・商店街の振興

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

市民が気軽に訪れる「なじみの店」や「こだわりの店」、「隠れた名店」が増え、商店街も賑わっています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (24年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
商店数	店	636	630	630	630
商店会数	件	13	13	13	13

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
商工業振興補助金による市内商工業の活性化支援	市内商工業の振興及び商店街の活性化を目的として、商工会・商店会等の現状及び課題を把握し、補助基準の見直しを適宜行い、商店会等に補助金を交付する。

(1) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（２） 店舗情報の活用

（２）－①基本事業のねらい（めざす姿）

店の紹介や空き店舗の情報が提供され、買い物や企業に活用されています。

（２）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
鎌ヶ谷情報ナビ登録件数	件	516	600	600	600
空き店舗情報公開件数	件	25	50	50	50

（２）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
空き店舗情報提供（空き店舗情報検索システム）	市内空き店舗の場所、面積、賃貸料等の情報を市ホームページ上に掲載し、利用していただくことで空き店舗の解消を図る。

（２）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（２）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（３） 観光の振興

（３）－①基本事業のねらい（めざす姿）

観光情報が効果的に発信され、市外から多くの人々が訪れています。また、市の特産品も販路が開拓され、受注が拡大されています。

（３）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
ふるさと産品認定件数	件	32	33	34	35
観光入込客数	万人	25	30	31	32

（３）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
ふるさと産品協会補助金による活性化支援	市内産業振興及び観光振興を目的として、ふるさと産品協会に補助金を交付する。
観光ビジョン推進事業	観光ビジョンに基づき、ホームページの開設やパンフレット作成等を行う。

（３）－④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
P. 41	観光ビジョン推進事業	7,837	2,702	940	2,315	940	940

（３）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

政策 3-3 活力ある産業を育成します

施策 3-3-3 活力ある工業の育成⇒「後期基本計画」 p109



■■ 施策のねらい（めざす姿） ■■

企業が技術革新を進めるとともに、その技術や技能を継承発展させ、付加価値の高い製品を生み出し、市内外に販路を拡大させています。また、新たなニーズに対応したコミュニティビジネスやSOHOなどの立地も進むなど、これまでの産業の集積と新しい産業の進出による調和が生まれています。


■■ 施策の成果目標値 ■■

指標名	単位	現状値	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
製造品出荷額	千万円	2,618 (24年度)	3,900	3,900	3,900
資金融資件数	件	37 (25年度)	30	40	40
無料職業紹介所の紹介による就職件数	件	150 (25年度)	120	120	120

■■ 後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担 ■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のニーズを把握し、自らの志向にあったビジネスを立ち上げ、また自らの目指す企業に就職します。 ・現役を退いた市民も、企業・家庭で培った技術や知識を活かし、地域の人たちの役に立つビジネス等を通じて生きがいを持って働きます。 	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の経営革新に努め、事業を発展させます。 ・後継者を育成し、伝統・技術を継承していきます。 ・新しいビジネス開発、商品開発に取り組みます。 ・地元住民を雇用し、地元企業との取引機会を増やします。 ・従業員の雇用安定を図るとともに、安全確保や健康管理に努めます。 	

■■ 「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策 ■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・創業を目指す人に対して、コミュニティビジネス事業・ベンチャービジネス事業補助金や創業支援資金（市融資制度）による資金調達の支援や各種情報提供を行います。 ・自らの目指す企業に就職でき、また、現役を退いた市民も生きがいをもって働くことができるように、わーくプラザ鎌ヶ谷（無料職業紹介所）のさらなる利用促進に努めます。 	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・市融資制度等の充実と周知を図ることで利用を促進し、経営基盤の安定化を支援します。 ・商工業振興補助金等により、後継者の育成を支援します。 ・ベンチャービジネス事業補助金等により、新しいビジネス開発・商品開発を支援します。 ・わーくプラザ鎌ヶ谷において、地域における事業者の求人をサポートし、地元住民の雇用へつなげます。 ・中小企業退職金共済制度への助成により、市内中小企業で働く従業員の福祉の向上と雇用の安定化を図ります。 	

基本事業（１） 中小企業への支援

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

市内企業の経営基盤が強化され、経営が安定しています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
預託金額	千万円	9	7	7	7
融資金額	千万円	58	45	50	50

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
中小企業資金融資の活用促進	預託金を金融機関に預託し、千葉県信用保証協会の信用保証により、金融機関の中小企業に対する事業資金の融資を円滑に行う。また、利子補給金を交付することにより、企業の経営基盤の強化、経営の安定を図る。

(1) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（２） 起業の促進

(2) -①基本事業のねらい（めざす姿）

起業に関する支援制度が創出され、企業進出が増えています。

(2) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
新規起業者数	件	2	5	7	10
起業相談件数	件	3	10	15	20

(2) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
中小企業資金融資の活用促進	預託金を金融機関に預託し、千葉県信用保証協会の信用保証により、金融機関の中小企業に対する事業資金の融資を円滑に行う、また利子補給金を交付することにより、企業の経営基盤の強化、経営の安定を図る。
コミュニティ・ベンチャー事業補助金の活用促進	商工業の振興及び発展等に寄与し、かつ、具体的な計画を有する事業を新たに市内で開始する個人に対し、補助金を交付し、起業の促進を図る。

(2) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(2) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（３） 企業立地の促進と雇用の創出

（３）－①基本事業のねらい（めざす姿）

企業が立地、集積し、雇用の場が生まれています。

（３）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
新たに立地した誘致企業数	件	0	4	6	8
新たに立地した誘致企業の雇用従業員数	人	0	80	120	160

（３）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
企業誘致基本計画推進事業	企業誘致基本計画に基づき、推進事業を行う。

（３）－④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
P. 41	企業誘致基本計画推進事業	5,611	2,431	109	1,481	109	1,481

（３）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

基本事業（４） 勤労者が働きやすい環境づくり

（４）－①基本事業のねらい（めざす姿）

多くの企業では、働く意欲のある人々が能力を発揮できるように、安全で快適な労働環境になっています。

（４）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
退職金共済加入者数	人	118	180	190	200

（４）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
退職金共済掛金への補助による中小企業支援	自社で退職金制度を持つことが困難な中小企業に対し、退職金共済掛金の助成を行う。
若者の就職支援事業	ジョブカフェちば（千葉県設置機関）と連携した15歳～39歳までの若者を対象とした就職支援事業の実施。

（４）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（４）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

政策3-3 活力ある産業を育成します

施策3-3-4 安心できる消費生活の推進⇒⇒「後期基本計画」p111



■■施策のねらい（めざす姿）■■

消費者が安心して買い物をすることができています。
また、市民一人ひとりが環境と調和した消費行動を実践しています。


■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
消費生活相談件数	件	373	300	300	300

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	・消費に関する正しい知識を身に付けます。	
事業者	・不当表示や誇大広告をせず、消費者に対する適正なサービスを提供します。	

■■「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・市民（消費者）が被害に遭わないよう、相談体制を充実します。 ・市民（消費者）が消費に関する正しい知識を身につけるための講座等を開催します。 ・市広報や市ホームページ等で消費に関する情報を提供します。 	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭用品品質表示法、消費生活用品製品安全法、電気用品安全法、ガス事業法に基づいた市内小売店の立入調査及び計量法に基づいた検査等の中で、今まで以上に表示の監視、指導を行います。 ・市広報や市ホームページで消費に関する情報を提供します。 	

基本事業（1）消費活動への支援

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

消費者意識が向上し、市民が消費に関する正しい知識を身に付け、被害に遭わないようにしています。また、環境と調和した消費行動をとっています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
くらしの講座参加者数	人	319	840	840	840
出前講座開催回数	回	8	9	9	9
消費生活展来場者数（※）	人	廃止	—	廃止	—

※消費生活団体が無くなったことにより、平成24年度より廃止。

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
くらしの講座	多くの市民が賢い消費者として自立することを支援するため、消費生活に関する知識や情報等を提供する。

(1) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（２） 消費生活相談の充実

（２）－①基本事業のねらい（めざす姿）

消費者トラブルやクレームに対して相談できる体制が充実しています。

（２）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
消費生活相談件数	件	373	300	300	300

（２）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
専門の相談員による消費生活相談の充実	多様化する消費生活に関する疑問やトラブルに対し、専門の相談員による相談窓口の充実。

（２）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（２）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

計画の実現のために

計画の実現のために

政策 4-1 計画の実現のために

施策 4-1-1 地方分権と市民参加の推進⇒⇒「後期基本計画」p113



■■ 施策のねらい（めざす姿） ■■

市民と行政が情報を共有し、共通の目標に向かってお互いの責任を自覚し、役割を分担しながら自らの選択と責任で協働のまちづくりをしています。


■■ 施策の成果目標値 ■■

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
市政に関する情報を得られている市民割合 (市民意識調査)	%	38.2	43.0	48.6	50.0
過去1年間に地域活動をした市民割合 (市民意識調査)	%	61.2	66.0	67.6	68.0
市民の意見や要望が市政に反映されていると思う市民割合 (市民意識調査)	%	26.0	40.0	48.0	50.0
市政への参加の機会が進んだと思う市民割合 (市民意識調査)	%	12.2	25.5	31.5	33.0

■■ 後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担 ■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> 市民一人ひとりが「自分たちのまち」という意識を持ち、まちづくりに関する知識を習得します。 まちづくりに積極的に参加します。 	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> 情報を共有し、連携してまちづくりに参加します。 	

■■ 「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策 ■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	<ul style="list-style-type: none"> 広報、ホームページ、ツイッター、フェイスブック、チラシ、ポスター、直接対話等、様々な方法によりまちづくりに関する情報を提供します。 市主催のまちづくり活動に、できる限り市民参加の機会を設けます。 市民活動推進センターを中心に、市民によるまちづくり活動の相談や情報提供、交流、場の提供などを行います。 議会の透明性向上や住民参加を進めていくうえで、インターネット議会中継等を活用し、開かれた議会を目指します。 	
事業者	<ul style="list-style-type: none"> 広報、ホームページ、ツイッター、フェイスブック、チラシ、ポスター、直接対話等、様々な方法によりまちづくりに関する情報を提供します。 市主催のまちづくり活動に、できる限り事業者との連携の機会を設けます。 市民活動推進センターを中心に、市民によるまちづくり活動の相談や情報提供、交流、場の提供などを行います。 議会の透明性向上や住民参加を進めていくうえで、インターネット議会中継等を活用し、開かれた議会を目指します。 	

基本事業（１） 地方分権に対応した体制整備

（１）－①基本事業のねらい（めざす姿）

地方分権に対応できる市政運営体制が整備されています。

（１）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
地方分権戦略プラン実現率	%	62.5	75	87.5	87.5

（１）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
行政評価の推進	政策等を事前・事後にチェックし、不断の見直しをしながら常に最適な行財政運営を行う。
職員体制・組織の見直し	鎌ヶ谷市自らが考え、実行していくことができるよう、常に最適な職員体制・組織にする。
情報システムの強化	情報通信技術の活用により、市民に対する行政サービスの質的向上、簡素化等を実現する。
政策立案・形成機能の強化	地域特性や時代環境に即した政策立案・形成機能を強化する。
NPOの育成、活動支援	市民自らがまちづくりに参加できるように、活動団体の育成、支援をする。

（１）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（１）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（２） 市民参加の促進

（２）－①基本事業のねらい（めざす姿）

市民が、鎌ヶ谷市のまちづくりに参加しています。

（２）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
市内NPO法人数	法人	31	27	31	32
1回あたりパブリックコメント意見件数	件	7	20	28	30

（２）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
市民活動推進センターの機能の充実	団体運営などに対する助言や相談を行う。また、ホームページやセンターだより等で、団体の活動状況や活動支援・助成情報などの提供を行う。
パブリックコメントの推進	市の重要な施策の意思決定の過程において、市民等から意見の提出を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行い、当該意見に対する市の考え方を公表する。

（２）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（２）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（３） 市民と行政の適正な役割分担

（３）－①基本事業のねらい（めざす姿）

市民と行政とが共通の目標に向かって、それぞれの役割を果たしています。

（３）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
過去1年間に地域活動の参加した市民割合 (市民意識調査)	%	61.2	66.0	67.0	68.0
市民協働提案事業提案 件数	件	1	5	8	10

（３）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
市民提案協働モデル事業の実施	市からの委託により、協働で地域の課題解決を図る。
市民活動支援補助事業の実施	設立後、間もない団体が実施する公益事業経費の一部を補助し、市民活動の促進を図る。

（３）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（３）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（４） 市民との情報共有化の推進

（４）－①基本事業のねらい（めざす姿）

まちづくりにあたって必要な情報が、市民と行政とで共有されています。

（４）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
審議会公開率	%	29 (24年度)	34	34	34
知りたい情報の提供・公開が進んだと思う市民割合 (市民意識調査)	%	24 (25年度)	28	29	30

（４）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
インターネット議会中継事業	インターネットを利用した議会中継（生放送、録画中継）を行う。
広報かまがやの発行	行政情報・イベント情報・市に関する諸手続きなどを掲載した広報紙を月2回発行し、新聞折込・郵送・公共施設などへの配置により、情報提供を行う。
市ホームページの運用	行政情報・イベント情報・市に関する諸手続きなどについて、情報提供を随時行う。
情報公開制度の実施	公文書の開示請求の総合的な推進を図る。

（４）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（４）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

政策4-1 計画の実現のために

施策4-1-2 効率的で健全な行財政運営の推進⇒「後期基本計画」p115



■■施策のねらい（めざす姿）■■

最少の経費で最大の効果を生み出す行政運営が行われています。
年間の支出をその年の収入でまかなう財政運営が確立されています。


■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	現状値	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
経常収支比率	%	91.8 (25年度)	95.0	95.0	95.0
市職員の市民への対応が良くなったと答えた市民割合（市民意識調査）	%	24.3 (25年度)	28.0	30.0	30.0
職員一人あたりの人口	人	160.2 (25年度)	160.3	160.3	160.3

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	<ul style="list-style-type: none"> ・事務事業の統廃合に合わせ、市民ができることは自ら行います。 ・市の財政状況に関心を持ち、市政に参加します。 
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者ができることは自ら行います。 ・協働によるまちづくりを行います。 

■■「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・行政評価を行い、各事務事業の改善を継続するとともに、わかりやすい指標を用いて、概要や達成状況等の情報提供をしていきます。 ・財政状況について、広報やホームページ等により、わかりやすい情報提供をしていきます。 
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・行政評価を行い、各事務事業の改善を継続するとともに、わかりやすい指標を用いて、概要や達成状況等の情報提供をしていきます。 ・財政状況について、広報やホームページ等により、わかりやすい情報提供をしていきます。

基本事業（1） 行財政改革の推進

（1）-①基本事業のねらい（めざす姿）

不断の行財政改革により、常に最適な行財政運営がなされています。

（1）-②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
将来負担比率	%	7.7	55.0	51.0	50.0
実質公債費比率	%	2.7	5.0	5.0	5.0

（1）-③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
事務、事業の再編・整理・廃止・統合	事務・事業を、分りやすい指標を用いて評価し、継続等の検討を行う。
定員管理の適正化	事務の見直し等の中で、組織の合理化を図りながら、極力職員数の抑制を行う。
行財政運営に関する市民との情報共有	広報・ホームページ等により、市民に向けてわかりやすい行財政運営の情報発信を行う。

（1）-④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（1）-⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（２） 計画行政と健全な財政運営

(2) - ①基本事業のねらい（めざす姿）

「鎌ヶ谷市総合基本計画」に基づいた計画的な行政運営がなされ、「持続可能な財政運営」が確立しています。

(2) - ②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
経常収支比率	%	91.8	95.0	95.0	95.0
「後期基本計画」目標達成率	%	—	80	—	100

(2) - ③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
財政健全化計画に定める財政指標等の数値目標達成	財政健全化計画に定めた経常収支比率、財政調整基金残高などの数値目標を達成するため、必要な財源確保策、歳出抑制策などを行う。
各種基金の計画的な積立て	各種基金への積立ては、中期財政見通しなどを踏まえ、計画的に行う。
後期基本計画の進行管理	「施策の成果目標値」の達成状況の把握等進行管理を行い、公表する。
将来的な人口減少・少子高齢化に対応した人口増加策の実施	将来的に人口減少等が想定される中で、定住人口増加を目的として、都市のブランド化、シティプロモーション、地域活性化の推進の各取組みを実施していく。
次期（仮称）総合基本計画策定事業	現行の市総合基本計画が平成32年度に終了する中で、次期の（仮称）総合基本計画（平成23年の地方自治法改正により基本構想の策定義務が廃止）の取扱いの検討及び策定を行う。

(2) - ④多額の経費を要する事業等（単位：千円）

別冊	事務事業名	総事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
P. 42	次期（仮称）総合基本計画策定事業	20,100	0	0	100	10,000	10,000

(2) - ⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※④で計上した事業以外なし

基本事業（３） 行政情報化の推進

(3) - ①基本事業のねらい（めざす姿）

情報システムの利用により、業務効率が上がり、経費削減がなされています。

(3) - ②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
行政の簡素化や事務の合理化が進んだと思う市民割合（市民意識調査）	%	16.1 (25年度)	22.0	24.0	24.0
職員数（※）	人	691 (26年度)	673	687	673

※職員数の平成27年度目標値は「第7次定員適正化計画（平成26～28年度）」で掲げた数値を記載しています。平成31及び32年度の目標値は、現行計画の最終年度となる平成28年度の数値を記載しています。

(3) - ③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
オンライン業務システムの運用	オンライン業務システムを稼働するためのサーバー並びにパソコン等の機器を利用する。
庁内LANシステムの設置・運用	庁内LAN用パソコンを設置し、庁内情報システムやLGWANなどのシステムを利用する。
庁内LANに関する通信	市の本庁舎、出先施設などをLANで接続し、またWebや官公庁・自治体と情報通信する。
庁内LANに関する保守	庁内LANのネットワーク整備・機器やサーバ等の保守を委託する。

(3) - ④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(3) - ⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（４） 組織・人事マネジメントの充実

（４）－①基本事業のねらい（めざす姿）

多様化・高度化する行政ニーズに対応できる職員・組織になっています。また、人事評価制度の活用により、業務目標の共有化が図られ、活力ある組織風土が醸成されています。

（４）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
行政の簡素化や事務の合理化が進んだと思う市民割合（市民意識調査）	%	16.1	22.0	24.0	24.0

（４）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
人事評価制度の構築	全職員に対する制度の試行及び制度の見直しを引き続き実施していく。また、業務目標の共有化の徹底を図る。
定員管理の適正化	社会経済状況の変化等を踏まえ、定員管理の適正化に取り組む。
組織の見直し	市民サービスを維持し、効果的かつ効率的な行政を行うことができるよう最適な組織にする。
人材育成の推進	人事評価制度の構築とともに、職員研修をさらに充実させるなど、総合的な人材育成に取り組む。
給与の適正化	人事院勧告及び千葉県人事委員会の勧告に基づき、市民の理解が得られるよう給与制度・運用・水準の適正化に取り組む。

（４）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（４）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（５） 公正、確実な事務と市民サービスの向上

（５）－①基本事業のねらい（めざす姿）

事務が、公正かつ確実に執行され、窓口等では、迅速で丁寧なサービスが行われています。

（５）－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
市職員の市民への対応が良くなったと答えた市民割合（市民意識調査）	%	24.3	28.0	29.0	30.0

（５）－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
市民の立場に立った接遇	「鎌ヶ谷市役所接遇ハンドブック」に基づき、市民の立場に立った接遇を行う。
法令等に基づいた事務の執行	法令等に基づき、常に適正、確実な事務処理を行う。

（５）－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

（５）－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

政策 4-1 計画の実現のために

施策 4-1-3 広域行政の推進⇒⇒「後期基本計画」p117



■■施策のねらい（めざす姿）■■

自治体間の広域的な連携により、行政が効率化し、市民の利便性や福祉が向上しています。


■■施策の成果目標値■■

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
共同処理事務数	件	4	増加	増加	増加
公共施設の共同利用数	件	0	増加	増加	増加
広域要望の実現度	%	—	増加	増加	増加

■■後期基本計画で掲げた市民及び事業者の役割分担■■

市民	・行政から発信される情報に関心を持ち、まちづくりに積極的に関わります。	
事業者	・情報を共有し、連携して広域行政のあり方について考えていきます。	

■■「市民」「事業者」が役割を担うために行政がとる方策■■

まちづくり主体	行政がとる方策	
市民	広域行政の検討状況や新たな情報などを必要に応じて情報発信を行う。	
事業者	広域行政の検討状況や新たな情報などを必要に応じて情報発信を行う。	

基本事業（1） 広域行政体制の強化

(1) -①基本事業のねらい（めざす姿）

既に広域体制で実施している事業が、構成市の連携関係を維持強化しながら効果的かつ効率的に推進されています。

(1) -②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
広域連携で行っている事業数	件	4	増加	増加	増加

(1) -③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合や四市複合事務組合に係る連携関係の維持強化	すでに広域で行っているゴミ処理や斎場運營業務を、より円滑に遂行できるよう、体制の強化を図るための職員派遣等を行う。

(1) -④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(1) -⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（２） 近隣自治体との連携

(2)－①基本事業のねらい（めざす姿）

これまでの広域体制にとらわれない新たな広域連携により、行政の合理化・効率化・市民の利便性や福祉向上のための協議が具体的に行われています。

(2)－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
広域要望の実現度	%	—	増加	増加	増加

(2)－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
千葉県市長会・東葛広域行政連絡協議会などを通じた要望活動	国政や県政に対する鎌ヶ谷市の要望を機会をとらえて要請していく。

(2)－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(2)－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

基本事業（３） 合併及び政令指定都市に関する調査研究と情報提供

(3)－①基本事業のねらい（めざす姿）

市町村合併及び政令指定都市に関して調査研究が行われ、必要な情報が共有されています。

(3)－②基本事業の成果目標値

指標名	単位	現状値 (25年度)	目標値 (27年度)	目標値 (31年度)	目標値 (32年度)
合併及び政令指定都市に関する広報実施回数	回	0	増加	増加	増加

(3)－③「基本事業のねらい（めざす姿）」を実現するための主な内容

事務事業名	内容
市町村合併、道州制、都制度など地方制度の国県等の動向の確認	市町村合併や道州制、都構想など地方制度に係る国や県などの動向を注視する。

(3)－④多額の経費を要する事業等

※該当事務事業なし

(3)－⑤実施計画策定過程で検討した事業（多額の経費を要する事業等）

※該当事務事業なし

後期基本計画第3次実施計画策定に係る市長方針

国の「三位一体の改革」や少子高齢化の進展等により、厳しい財政状況が続いてきましたが、本市では、徹底して市役所をスリム化し、行革に取り組んできた結果、実質収支が16億円の黒字、基金残高が市制施行以降で過去最高となる約60億円を確保し、本市の財政状況は大きく改善しました。

しかし、今後も人口減少や少子高齢化の一層の進展により、市税等の歳入の減少が見込まれる一方で、扶助費等が増加するなどの課題も想定されています。

よって、後期基本計画第3次実施計画では、持続可能な行財政運営を引き続き実施しながらも、これまで積み立てた基金等を市民サービスに還元する取り組みを行い、ハード面では都市基盤の強化、ソフト面では子育て世代や共働き世代を中心とした人口流入策を実施することで、魅力ある鎌ヶ谷市を創っていきます。

そのためにも、後期基本計画における4つの重点政策を押し進め、成果目標値の達成を目指しながら、「子どもからお年寄りまでずっと住み続けたい街」を目指す市長公約の各項目を実現するため、以下に掲げる5つの街づくりについて、積極的な事業展開を進めていきます。

(1) 地震・災害に強い街づくり

東日本大震災を契機に、耐震に関する事業を前倒した結果、義務教育施設等耐震改修や防災備蓄倉庫整備等は、平成25年度までに100%完了することが出来ましたが、今後も更に市民が安心して暮らせるよう、市庁舎の耐震化や消防本部・くぬぎ山消防署の建替えをはじめ、各自治会の防災力を高める取り組み、高齢者や障がい者を災害時に支援する取り組み等を積極的に進めていきます。

また、平成25年に発生した台風第26号や近年のゲリラ豪雨等による水害に備えるため、準用河川の拡幅や貯留池の整備など、「浸水対策」の強化にも力を入れていきます。

(2) 子育て世代にやさしい街づくり

子育て支援の取り組みとして、これまで家庭的保育事業（あっとほ一むママ）の増設や民間保育所の誘致、こども医療費助成の拡充などの取り組みを進めてきましたが、今後も少子高齢化が進展する中で、本市が将来にわたって発展を続けるためには、子育て世代や共働き世代を中心とした人口の流入策を講じる必要があります、そのためには安心して子どもを産み育てることが出来る街づくりを

目指していきます。

具体的には、後期基本計画に掲げた目標の一つである待機児童の解消や将来を担う児童・生徒の健全な育成を図るための良好な学習環境の整備など、子育て世代にやさしい街づくりに寄与すると考えられる取組みを、積極的に進めていきます。

(3) 高齢者が安心して暮らせる街づくり

今後の超高齢化の進展に対応するため、高齢者が住み慣れた地域で共に支え合い、安心して暮らすことが出来るような事業や介護予防に寄与すると考えられる事業を積極的に進めることで、高齢者が健康で生きがいをもち、その人らしく暮らすことが出来るようなまちを目指していきます。

具体的には、高齢者の孤立ゼロを目指すため、民生委員や自治会、社会福祉協議会、民間事業所などと連携した見守り体制の強化や、介護を必要とする高齢者が不安のない生活を送れるための取組みを、積極的に進めていきます。

(4) 「文教都市」として、文化・スポーツが盛んで、緑あふれる街づくり

自然豊かな環境の中で、市民一人ひとりが文化・スポーツを楽しめるまちを目指すため、文化的拠点施設として民間の活力を生かした「きらり鎌ヶ谷市民会館」の整備、スポーツ施設の充実を図るために「弓道場・アーチェリー場」の開設、市民協働による「栗野地区公園（第1期）」の開園などの整備を進めてきましたが、今後も私たちが住む鎌ヶ谷市に「郷土愛」を持ち、健康で明るい生活を送れるような取組みを進めていくことが必要です。

具体的には、文化・教育の充実を図るため、「きらり鎌ヶ谷市民会館」を活用した市民の文化活動の促進、既存の文化や地域資源の活用を通じた市民交流などに寄与する事業を積極的に進め、「文化の香り」高い街を目指します。

また、「生涯スポーツ宣言都市」を具現化するため、スポーツ施設の整備やスポーツ活動の充実に取組み、生涯を通して市民一人ひとりがスポーツに親しみ、心のふれあえるまちを目指します。

さらに、「緑の都市宣言」として、緑豊かな環境を保全するため、市民と行政が一体となって自然の緑地を保全し、緑の空間の創造に取り組んでいきます。

(5) 未来を見据えた街づくり

次世代に誇れる活気あふれる街づくりを進めるため、新たな「都市の魅力」を高める取組みを進め、にぎわいの創出や地域の活性化を図りながら、誰もが「住みたい」「住み続けたい」と思われる街づくりを目指していきます。

具体的には、平成29年度の新京成線連続立体交差事業の完成とあわせ、新

鎌ヶ谷駅をはじめ、初富駅及び北初富駅前広場の整備を完了させるとともに、現在着手している都市計画道路の整備や新鎌ヶ谷駅から東武鎌ヶ谷駅までの都市軸を有機的に連携する取組み、千葉県で東京10号線延伸新線計画の中止を受けた跡地利用などを進め、市内外の方から魅力的なまちとして注目される取組みを積極的に展開していきます。

また、従来から国・県への要望を続けている北千葉道路や国道464号線栗野バイパス線の早期整備については、2020年の東京オリンピックまでに本格的に事業化するよう関係機関へ働きかけを行っていきます。

さらに、歩行者が事故に遭わないための生活道路や通学路の整備についても、市民ニーズを的確に把握し、市民生活が向上するよう、より一層力を入れていきます。

このように、都市基盤整備を進める一方で、「人口減少や少子高齢化」に備えた取組み、次世代に大きな負担を残さない取組みについても、積極的な事業展開を進め、市の魅力向上を図っていきます。